

【第66年会講演プログラム】

1. この講演プログラムは8月23日現在のものです。
2. 口頭発表の講演時間は、一般講演15分（講演12分，討論3分），テクノレビュー講演：1件30分（講演25分，討論5分）です。すべてのポスター発表の発表時間は60分です。特別シンポジウム講演及び受賞講演は原則として1件30分（講演25分，討論5分）ですが，一部の特別シンポジウム講演及び受賞講演は講演時間は異なります。
3. 講演の発表者（登壇者）に○印を付けています。
4. 講演番号の最初のアルファベットは会場名，次の「1」～「4」は第何日かを示します。口頭発表の場合，最後の3桁が会場の日にちごとの講演順の番号になっています。
たとえば，「C1030」は，C会場第1日目（9月9日）の30番目の講演，とお考えください。
5. 特別シンポジウム講演は最初のアルファベットの会場名の後に「S」を入れてあります。特別シンポジウム枠での一般講演（口頭）の末尾には「*」を，テクノレビュー講演の末尾には「T」付けています。
6. ポスター発表の場合には，一般講演ポスター発表（テクノレビュー講演を含む）は「P」，若手ポスター発表は「Y」と明記しています。なお，一般ポスター，若手ポスターとも会場は同じです。
7. 受賞講演，研究懇談会講演の名称は一部省略して掲載しています。ご了承ください。
8. A会場の産業界シンポジウム（9月10日午後）及びF会場のチュートリアルセッション（9月9日午後）は一般公開です。
9. 本講演プログラムは講演申込者がオンライン登録したデータをそのまま掲載していますが，所属略称等は一部修正している場合があります。
10. 座長は交渉中を含みます。
11. 実行委員会の都合により講演プログラムを変更する場合があります。

【 A 会場 】

第2日（9月10日）

座長 宮野 博

【シンポジウム講演】 AS2001（13:00～13:30）分析化学を起点とする新たな価値の創造と社会貢献（島津）○上田 輝久

【シンポジウム講演】 AS2002（13:30～14:00）医薬品探索研究における分析の多様性と現状（第一三共RDノバーレ）○高橋 雅行

【シンポジウム講演】 AS2003（14:00～14:30）計算機シミュレーションによる高分子高次構造解析（産総研）○青柳 岳司

[PC設定時間]

座長 伊勢村 次秀

【シンポジウム講演】 AS2004（14:45～15:15）鉄鋼業における分析技術の現状と将来（JFEスチール¹・JFEテクノリサーチ²）○城代 哲史¹・名越 正泰²

【シンポジウム講演】 AS2005（15:15～15:45）非鉄材料メーカーに於ける分析評価の活用（三菱マテリアル中研）○梯 伸一郎

【シンポジウム講演】 AS2006（15:45～16:15）電池分析の最前線（日産アーク）○野呂 純二

第3日（9月11日）

座長 手嶋 紀雄

【学会賞講演】 AS3001（15:00～15:40）新規センシング技術を用いるフロー分析法の開発（九大院工）○今任 稔彦

座長 前田 瑞夫

【学会賞講演】 AS3002（15:45～16:25）機能性高分子を用いた分離・分析システムの創製とその応用（慶大薬）○金澤 秀子

座長 鈴木 孝治

【学会賞講演】 AS3003（16:30～17:10）微小電極や新規電極材料を用いる電気化学分析，センシング法の研究（埼玉工大）○丹羽 修

【 B 会場 】

第1日（9月9日）

座長 前田 耕治

【シンポジウム講演】 BS1001（13:15～13:45）透析液管理のためのエンドトキシンセンサ（東北大院環境）○井上（安田）久美

【シンポジウム講演】 BS1002（13:45～14:15）マイクロスケール電気泳動を基盤技術とした簡便・迅速・高感度バイオ分析法の開発（阪府大院工）○末吉 健志

座長 井上（安田）久美

【シンポジウム講演】 BS1003（14:15～14:45）有機薄膜トランジスタを用いた唾液中物質の検出検討（東大生研）○南 豪

【シンポジウム講演】 BS1004（14:45～15:15）試料添加式迅速クーロメトリーを用いる食品やバラスト水などの各種実試料分析（埼玉工大¹・埼玉工大院工²）○内山 俊一¹・松浦 宏昭²

[PC設定時間]

座長 南 豪

【シンポジウム講演】 BS1005（15:30～16:00）イオン選択性電極の物性評価（阪工大工）○森内 隆代

【シンポジウム講演】 BS1006（16:00～16:30）マイクロ電極を用いた電気化学測定の実際（北斗電工¹・金沢大²・東北大³）○青柳 重夫¹・松岡 涼¹・松平 昌昭¹・高橋 康史²・熊谷 明哉³・珠玖 仁³・末永 智一³

座長 前田 耕治

【シンポジウム講演】 BS1007（16:30～17:00）ボルタンメトリーによる銅腐食生成物の定量方法の概要と実試料の評価事例（住友電工）○中山 茂吉

【シンポジウム講演】 BS1008（17:00～17:30）酸と塩基の電気化学検出法の開発と病態モニタリングへの応用（東薬大薬）○小谷 明・袴田 秀樹

第2日（9月10日）

座長 白井 理

B2001（9:00～9:15）白金ナノ粒子ハイブリッドカーボン電極によるジェオスミンの電気化学分析（産総研バイオメディカル¹・埼玉工大²）○加藤 大¹・鎌田 智之¹・栗田 僚二¹・丹羽 修²

B2002（9:15～9:30）*Shewanella oneidensis*による金属イオン還元機構の解析（阪府大）○石木 健吾・椎木 弘・長岡 勉

B2003 (9:30~9:45) Preparation and application of electroactive nanostructure for bacteria detection (阪府大院工)
○Nguyen, Quang Dung・木下 隆将・中西 聖嗣・椎木 弘・長岡 勉

B2004 (9:45~10:00) 高イオン強度水溶液のpH計測における液間電位差(甲南大院自然¹・甲南大理工²) ○垣内 隆¹・大西 佑貴²・山本 雅博^{1,2}

[PC設定時間]

座長 椎木 弘

B2005 (10:10~10:25) 安定した二極式多成分同時電解に基づいたバイオセンシング(京大院農) 勝辺 隆太郎・○北隅 優希・白井 理・加納 健司

B2006 (10:25~10:40) 神経軸索における膜電位変化の伝播現象の新解釈(京大院農) ○白井 理・北隅 優希・加納 健司

B2007 (10:40~10:55) 電池材料評価用大気非曝露XAFS測定装置の開発(SAGA-LS¹・九大先導研²・九大総理工³) ○瀬戸山 寛之¹・喜多條 鮎子²・小林 栄次²・伊舎堂 雄二³・岡田 重人²・岡島 敏浩¹

B2008 (10:55~11:10) X線分析を利用したペロブスカイト型TiF₃のコンバージョン反応機構の解明(九大先導研¹・九大総理工²・Saga LS³) ○喜多條 鮎子¹・江口 勝也²・瀬戸山 寛之³・岡島 敏浩³・岡田 重人¹

[PC設定時間]

座長 金 継業

B2009 (11:20~11:35) 層状二酸化マンガンの層間に固定されたニッケル(II)イオンの電気化学挙動と反応性(山口大院創成科学¹・山口大工²) ○鈴木 かのん¹・岡部 彩矢香²・中山 雅晴¹

B2010 (11:35~11:50) フルオラス溶媒デカフルオロペンタン|水界面でのイオン移動ボルタンメトリー(福井県大生物資源) ○片野 肇・黒田 康弘・植松 宏平

B2011 (11:50~12:05) 尿中シュウ酸分析のための単一くし形電極を組み込んだ液体クロマトグラフィーチップの開発(北大院総化¹・北大院工²) ○藤井 大地¹・真栄城 正寿²・石田 晃彦²・谷 博文²・渡慶次 学²

第3日(9月11日)

座長 小池 亮

[シンポジウム講演] BS3001 (9:00~9:30) NMRが定量分析全般に与えるインパクト(産総研物質計測標準) ○齋藤 剛

[シンポジウム講演] BS3002 (9:30~10:00) 定量NMRの医薬品開発研究への応用(エーザイ分析研) ○江奈 英里

B3003* (10:00~10:15) ³¹P-NMRによるリン脂質の定量について(日本食品分析セ) ○加藤 毅・西宮 真美・藤田 和弘

座長 齋藤 剛

B3004* (10:15~10:30) 定量¹⁹F NMR法による無機酸化物薄膜の成膜反応解析(神戸大環境保全推進セ¹・神戸大院工²) ○牧 秀志^{1,2}・水畑 穰²

[PC設定時間]

[シンポジウム講演] BS3005 (10:45~11:15) 定量NMR法の信頼性向上のための不確かさ評価の進展 ~浮力が分析値へ与える影響の評価法の確立~(産総研) ○齋藤 直樹・田中 秀幸・城野 克広・榎原 研正・井原 俊英

[シンポジウム講演] BS3006 (11:15~11:45) qNMR/Chromatographyの開発と規格試験への応用(国立衛研) ○杉本 直樹 座長 吉留 俊史

B3007 (13:00~13:15) FT-IR ATRによる法科学的体液試料の識別分析に向けた多変量解析法の開発(東大院理¹・科警研²・京府医大³) ○高村 彩里^{1,2}・渡邊 賢²・阿久津 智子²・池谷 博³・小澤 岳昌¹

B3008 (13:15~13:30) 励起・蛍光マトリクスを用いた米の簡易産地判別法の検討(サタケ) ○前原 峰雄・久米 寿子・藤田 明子

B3009 (13:30~13:45) 減衰全反射遠紫外分光法を用いたイオンを多量に含む液体・固体の電子状態の研究(近大理工) ○森澤 勇介・上野 那美・西木戸 和貴

B3010 (13:45~14:00) 減衰全反射遠紫外分光法を用いたLi塩を含むDeep Eutectic Solventsのイオン形態の分析(近大総合理工) ○西木戸 和貴・森澤 勇介

[PC設定時間]

座長 森澤 勇介

B3011 (14:15~14:30) 微量溶媒の長時間作用で誘起される過塩素酸エウロピウム固溶体の蛍光増大(鹿児島大院理工¹・鹿児島大工²) ○吉留 俊史¹・福菌 悠紀人¹・横田 竜典²・肥後 盛秀¹

B3012 (14:30~14:45) Eu(III)錯体の蛍光特性に及ぼす他金属の効果(東理大理¹・金沢大院²) ○長谷川 佑子¹・井田 朋智²・真木(玉城) 沙弥香¹・山崎 敦央¹・秋津 貴城¹・矢島 博文¹・遠藤 一央¹

B3013 (14:45~15:00) 無機酸化剤による化学発光の増幅機構についての研究(阪工大工¹・WDB²) ○藤森 啓一¹・坂田 優太²・森内 隆代¹・澁谷 康彦¹

第4日(9月12日)

座長 石垣 美歌

B4001 (9:00~9:15) 異なる装置や測定条件によって得られるラマンシフトの比較(産総研計量標準総合セ) ○伊藤 信靖・城野 克広・藤本 俊幸

B4002 (9:15~9:30) NanoIRを用いたMurchison隕石のイメージング分析(横浜国大院工¹・日本サーマル・コンサルティング²) ○癸生川 陽子¹・小林 華栄²・馬殿 直樹²・浦山 憲雄²・小林 憲正¹

B4003 (9:30~9:45) トレハロース水溶液のマイクロ波・テラヘルツ分光による水和の評価(NTT先端集積デバイス研¹・京大農²) ○米戸 克裕¹・中村 昌人¹・田島 卓郎¹・白神 慧一郎²・小川 雄一²

B4004 (9:45~10:00) 赤外分光法によるマレイミド-メタノール混合気体からの析出膜生成過程と構造-極度な過飽和状態の形成(鹿児島大院理工) ○松山 薫・吉留 俊史・千北 健太郎・肥後 盛秀

B4005 (10:00~10:15) 近赤外分光法, イメージングを用いたメダカ受精卵の発生過程における水の構造の研究(関大院理工) ○安井 唯・石垣 美歌・西井 崇・Paralee Puangchit・尾崎 幸洋

B4006 (10:15~10:30) 赤外・ラマン分光による魚類ウロコの状態解析(東医歯大) ○奈良 雅之・丸山 雄介・服部 淳彦

[PC設定時間]

座長 味戸 克裕

B4007T (10:45 ~ 11:15) 透過型プラズモンセンサを用いた表面増強ラマン分光法の汎用表面・界面分析手法 (早大) ○柳沢 雅広・本間 敬之

B4008 (11:15 ~ 11:30) ラマン分光法を用いたマウス卵子成熟に伴う受精能・発生能の分析 (関学大理工¹・広島大生物圏科学²) ○石垣 美歌¹・星野 由美²・尾崎 幸洋¹

B4009 (11:30 ~ 11:45) 迅速に分子置換するフロースルー表面増強ラマン散乱検出システムの開発 (右近工舎¹・滋賀県大工²・北陸先端科技大³・産総研⁴) ○右近 寿一郎¹・Balachandran Jayadevan²・John Cuya²・山本 裕子³・伊藤 民武⁴

B4010 (11:45 ~ 12:00) 非金属ナノ粒子増強ラマン散乱 (埼玉大院理工) 二又 政之・○中永 早紀・吉川 英

B4011 (12:00 ~ 12:15) 含硫ペプチドとの反応による金ナノクラスタの近赤外蛍光特性の発現 (宇都宮大院工) ○上原 伸夫・藪田 夏美

【 C 会 場 】

第1日 (9月9日)

座長 渡慶次 学

【シンポジウム講演】 CS1001 (13:10 ~ 13:40) ナノ・マイクロ化学分析の現状と将来展望 (東大院工) ○北森 武彦

【シンポジウム講演】 CS1002 (13:40 ~ 14:10) 1細胞バルベーションデバイスによるナノ・マイクロ化学分析 (名大院工¹・JST さきがけ²) ○加地 範匡^{1,2}・安井 隆雄^{1,2}・馬場 嘉信¹

【シンポジウム講演】 CS1003 (14:10 ~ 14:40) マイクロデバイスによるエピゲノム分析 (産総研) ○栗田 僚二

[PC設定時間]

座長 火原 彰秀

【シンポジウム講演】 CS1004 (14:55 ~ 15:25) 人工細胞膜システムを用いたナノ・マイクロ化学分析 (農工大工) ○川野 竜司

【シンポジウム講演】 CS1005 (15:25 ~ 15:55) 光ピンセットを駆使した単一エアロゾルのマイクロ化学 (広島大院理) ○石坂 昌司

【シンポジウム講演】 CS1006 (16:10 ~ 16:40) 次世代に向けた医療機器開発 (シスメックス) ○角田 正也

【シンポジウム講演】 CS1007 (16:40 ~ 17:10) ナノファイバー複合化フィルターを用いる超微量成分の簡易分析 (徳島大院理工) ○水口 仁志

第2日 (9月10日)

座長 渡慶次 学

C2001 (9:00 ~ 9:15) 鋸型電極デバイスの誘電泳動を利用するヒト骨髄由来細胞の非標識分離と濃縮 (東大院総文 (広域生命)¹・東洋大理工²・兵庫県大院物質理³・JST さきがけ⁴) ○吉岡 純矢¹・大杉 悠²・吉富 徹¹・安川 智之³・佐々木 直樹²・吉本 敬太郎^{1,4}

C2002 (9:15 ~ 9:30) 一分子観察に基づく細胞内におけるGタンパク質共役型受容体の活性化状態の測定 (東大院理) ○西口 知輝・吉村 英哲・小澤 岳昌

C2003 (9:30 ~ 9:45) マイクロ/拡張ナノインタフェースの静電相互作用による溶質挙動 (東大院工) ○岡本 一真・嘉副 裕・馬渡 和真・北森 武彦

C2004 (9:45 ~ 10:00) 拡張ナノ空間への応用を目的とした熱拡散係数測定法の開発 (東大院工) ○佐藤 言生・清水 久史・馬渡 和真・北森 武彦

[PC設定時間]

座長 馬場 嘉信

【奨励賞講演】 C2005 (10:10 ~ 10:40) ナノ構造特有の新規分離・検出原理発見と高性能生体分子解析 (名大院工¹・名大先端ナノバイオ研セ²・JST さきがけ³) ○安井 隆雄^{1,2,3}

座長 吉本 敬太郎

C2006 (10:40 ~ 10:55) デフォーカス粒子画像を用いた拡張ナノ空間流速分布測定法の開発 (東大院工) ○嘉副 裕・柴田 和輝・馬渡 和真・北森 武彦

C2007 (10:55 ~ 11:10) 滴定剤含浸ろ紙片を用いる現場分析法の開発 (山梨大院医工農) ○大森 太老・川久保 進

C2008 (11:20 ~ 11:35) イオン電極検出器を用いる西洋わさびバルオキシダーゼのシーケンシャルインジェクション分析 (芝浦工大) 石山 和弥・○正留 隆

座長 内山 一美

【技術功績賞講演】 C2009 (11:35 ~ 12:05) マイクロフロー分析システム及び小型質量分析デバイスの開発 (千葉科学大危機管理) ○伊永 隆史

座長 馬渡 和真

C2010 (13:15 ~ 13:30) マイクロ流体デバイスを用いた化学発光イムノアッセイの高感度化 (北大院総合化学¹・北大院工²) ○菊地 優仁¹・真栄城 正寿²・石田 晃彦²・谷 博文²・渡慶次 学²

C2011 (13:30 ~ 13:45) 連続フロー法によるペーパー分析デバイスの高感度化 (岡山大院自然) ○金田 隆・島田 雄飛

C2012 (13:45 ~ 14:00) ポストカラム誘導体化のためのオンチップミキサーの開発 (東大院薬¹・早大院理工²) ○磯川 宗生¹・中西 完貴²・金森 貴宏¹・尹 棟鉉²・関口 哲志²・船津 高志¹・庄子 習一²・角田 誠¹

C2013 (14:00 ~ 14:15) 磁場と重力の複合場を用いた黒穂菌胞子のトラップ分離 (阪大院理) ○家氏 達郎・森田 一帆・諏訪 雅頼・塚原 聡

第3日 (9月11日)

座長 北條 正司

C3001 (9:00 ~ 9:15) Liイオン電池用イオン液体電解液中のイオン溶媒と特性とその構造制御: 中性配位子の添加効果 (山口大院創成) ○田島 絢・吉本 信子・森田 昌行・藤井 健太

C3002 (9:15 ~ 9:30) マイケル付加反応を利用した四分岐PEGのゲル化反応メカニズム: Li電池用ゲル電解質への展開 (山口大院創成) ○吉武 真理・吉本 信子・森田 昌行・藤井 健太

C3003 (9:30 ~ 9:45) 1-ブチル-3-メチルイミダゾリウム系イオン液体中における銅-クロロ錯生成反応 (鹿児島大院理工) ○神崎 亮・児玉谷 仁・富安 卓滋

C3004 (9:45 ~ 10:00) メソ多孔質シリカMCM-41中に閉じ込められたアセトニトリル-水二成分溶液の熱挙動と構造 (福岡大院理) ○山口 敏男・藤 未奈恵・井上 拓也・吉田 享次

[PC設定時間]

座長 山口 敏男

C3005 (10:10 ~ 10:25) 食品に混入された有機リン系農薬の分解過程に関する研究 (第3報) (高知大院¹・高知大理²・高知大教³) ○大前 義仁¹・北條 正司²・藤山 亮治²・西脇 芳典³

C3006 (10:25 ~ 10:40) HBr 又は HI 溶液中の過酸化水素を酸化剤とする純金の溶解反応 (高知大理) ○北條 正司・岩崎 駿将

C3007 (10:40 ~ 10:55) 液体構造からみた*N*-アルキルイミダゾールからなる酢酸系擬プロトン性イオン液体の特異的プロトン伝導機構 (新潟大院自然¹・山形大理²) 渡辺 日香里¹・荒井 奈々¹・野崎 永莉香¹・亀田 恭男²・梅林 泰宏¹

座長 神崎 亮

【溶液反応化学研究懇談会】 C3008 (11:00 ~ 11:30) エントロピーで見る液晶 (筑波大数理物質) ○齋藤 一弥

【溶液反応化学研究懇談会】 C3009 (11:30 ~ 12:00) DNA 結合蛋白質の溶液構造と熱力学解析 (京府大院生命環境科学¹・JASRI-SPRING⁸) ○織田 昌幸¹・稲葉 理美²

座長 高橋 和也

C3010 (13:00 ~ 13:15) 模擬星間物質から生成したアミノ酸前駆体のキャラクタリゼーション (横浜国大院工¹・福岡工大工²・兵庫県大院工³・東工大先導原子力研⁴) ○小林 憲正¹・榎本 真吾¹・伊藤 隆哉¹・青木 涼平¹・癸生川 陽子¹・三田 肇²・村松 康司³・大内 貴仁³・濱中 颯太³・福田 一志⁴・小栗 慶之⁴

C3011 (13:15 ~ 13:30) 連続融解・分析装置による雪氷コアの分析 (国立極地研¹・総研大²) ○平林 幹啓¹・東 久美子^{1,2}・Remi Dallmayr¹・尾形 純¹・塚川 佳美¹・北村 享太郎¹・川村 賢二^{1,2}

C3012 (13:30 ~ 13:45) リアルタイムPCRを用いる琵琶湖北湖における藻類の動態解析 (京工織大院工芸科学¹・京工織大環境セ²・滋賀県琵琶湖研³) ○藤井 颯¹・水口 裕尊¹・布施 泰朗^{1,2}・石川 可奈子³・岡本 高弘³・早川 和秀³・柄谷 肇¹・山田 悦^{1,2}

C3013 (13:45 ~ 14:00) 電気泳動-MALDI-TOF-MSなどを用いる藻類由来及び琵琶湖水中タンパク質様蛍光物質の特性解析 (京工織大院工芸¹・京工織大環境科学セ²・滋賀県琵琶湖環境研³) ○水口 裕尊¹・藤井 颯¹・比嘉 良太¹・藤井 しおり¹・布施 泰朗^{1,2}・岡本 高弘³・早川 和秀³・柄谷 肇¹・山田 悦^{1,2}

[PC設定時間]

座長 小林 憲正

C3014 (14:10 ~ 14:25) 化石骨のフッ素含量と放射性炭素年代 (九大RIセ¹・元琉球大医²・沖縄県埋文セ³・東大博物館⁴) ○吉村 和久¹・土肥 直美²・片桐 千亜紀³・米田 穰⁴・仲座 久宜³・徳嶺 里江³

C3015 (14:25 ~ 14:40) 博多湾海水の溶存鉄のスペシエーション (九大RIセ¹・九環協²・新潟大理³) ○吉村 和久¹・天日 美薫²・道山 晶子²・松岡 史郎³

C3016 (14:40 ~ 14:55) 鹿児島県旧金鉱山周辺地域における土壌中水銀の形態別分布 (鹿児島大院理工) ○安松 空良・外園 寿宗・児玉谷 仁・神崎 亮・富安 卓滋

C3017 (14:55 ~ 15:10) 鹿児島湾における海水中水銀化学種の濃度変動と海底熱水噴気活動の影響 (鹿児島大院理工) ○三ツ井 亮洗・児玉谷 仁・神崎 亮・富安 卓滋

第4日 (9月12日)

座長 平林 幹啓

C4001 (9:00 ~ 9:15) 自動固相抽出装置を用いる南極海及び南太平洋における溶存態・全可溶性生物活性微量金属の鉛直断面分布の観測 (京大化研) ○南 知晴・鄭 臨潔・高野 祥太郎・宗林 由樹

C4002 (9:15 ~ 9:30) ケンサキイカに含まれる有害元素の定量とその比較：年変化 (東京海洋大院¹・環境科学技術研²・理研³) ○山口 義尊¹・原田 葉乃¹・土屋 光太郎¹・高久 雄一²・高橋 和也³・田中 美穂¹

C4003 (9:30 ~ 9:45) シリカスケール生成の因子：温度とイオン (東京海洋大院¹・理研²) ○田中 美穂¹・高橋 和也²・岡部 駿也¹・高梨 翠¹

C4004 (9:45 ~ 10:00) キレートを用いたFe (II) の定量法の高感度化 (東京海洋大院) ○岡部 駿也・田中 美穂

C4005 (10:00 ~ 10:15) 遺跡から出土する水銀朱の産地同定のための硫黄、鉛の同位体分析の試み (近大¹・奈良大²・理研³) 南 武志¹・今津 節生²・木寺 正憲³・Yu-Vin Sahoo³・北川 路子³・高橋 和也³

【 D 会 場 】

第2日 (9月10日)

座長 林部 豊

【レアメタル研究懇談会】 D2001 (13:00 ~ 13:30) レアメタルを取り巻く状況とその分析評価について (三菱マテリアル) ○深谷 忠廣

座長 平井 昭司

【レアメタル研究懇談会】 D2002 (13:30 ~ 14:00) 原子力発電所で使われた燃料からのパラジウムの回収と定量 (JAEA) ○浅井 志保・蓬田 匠

[PC設定時間]

座長 東海林 敦

D2003 (14:15 ~ 14:30) 表面気泡変調液体クロマトグラフィーによる<#BR%#>逆相分離系の溶質分離選択性におよぼす移動相組成の影響の解明 (埼玉大院理工) ○中村 圭介・生形 竜介・齋藤 伸吾・渋谷 雅美

D2004 (14:30 ~ 14:45) 温度応答性高分子ブラシ修飾クロマトグラフィー担体の荷電官能基の影響 (東女医大先端生命¹・慶應大薬²・東理大基礎工³) ○長瀬 健一^{1,2}・小林 純¹・菊池 明彦³・秋山 義勝¹・金澤 秀子²・岡野 光夫¹

D2005 (14:45 ~ 15:00) 多分散型マイクロピラーアレイ内での試料拡散の評価 (京大院工) ○内藤 豊裕・岩場 剛志・久保 拓也・大塚 浩二

座長 中村 洋

【LC研究懇談会】 D2006 (15:00 ~ 16:00) UHPLCまでの道のり ~ LCの性能と機能の向上 (アジレント・テクノロジー) ○熊谷 浩樹

第3日 (9月11日)

座長 櫻井 健次

D3001 (9:00 ~ 9:15) 紙・布の全電子収量軟X線吸収測定 (兵庫県大院工) ○村松 康司・谷 雪奈・飛田 有輝・平井 佑磨・吉田 圭吾

D3002 (9:15～9:30) 高分解能X線光電子分光法による酸素グロー放電酸化金薄膜の生成と分解に関する研究(鹿児島大院理工¹・鹿児島大機器分析セ²) ○松原 裕拓¹・満塩 勝¹・肥後 盛秀¹・久保 臣悟²

D3003 (9:30～9:45) 走査型電子顕微鏡と高分解能X線光電子分光法及びX線回折法による加熱したアルミニウム薄膜上に蒸着した金薄膜の形態観察及び状態分析(鹿児島大院理工¹・鹿児島大機器分析セ²) ○有田 隆陽¹・満塩 勝¹・肥後 盛秀¹・久保 臣悟²

D3004 (9:45～10:00) 小角X線散乱で得られる構造因子を利用した粒子間二体分布関数のモデルポテンシャルフリー解析: 実験データへの適用(京大院工¹・岡山大基礎研²・立命館大生命科学³) ○澤住 亮佑¹・天野 健一¹・墨 智成²・今村 比呂志³・深見 一弘¹・西 直哉¹・作花 哲夫¹

[PC設定時間]

座長 村松 康司

D3005 (10:15～10:30) シンクロトロン光蛍光X線分析法による遺跡出土磁器のレアメタル分析による産地推定(佐賀大院工) ○田端 正明・上田 晋也

D3006 (10:30～10:45) 波長分散型蛍光X線イメージングによるいくつかの化学反応の元素モニタリング(阪市大院工) ○会田 翔太・辻 幸一

D3007 (10:45～11:00) 共焦点型微小部蛍光X線分析法による水溶液中曲げ応力下鋼板の腐食過程その場観察(阪市大院工) ○細見 凌平・辻 幸一

D3008 (11:00～11:15) 多層膜における蛍光X線増感に着目した特定界面に選択的な化学組成分析(筑波大院数理工質¹・物材機構²) ○小林 治哉^{1,2}・桜井 健次^{1,2}

座長 国村 伸祐

[X線研究懇談会] D3009 (13:15～14:15) 実験地球化学とX線分析(九大院理) ○横山 拓史

[PC設定時間]

座長 辻 幸一

[CERI賞講演] D3010 (14:30～15:00) 環境分析用新規高機能標準物質の開発(明治大¹・リガク²) ○中村 利廣^{1,2}

座長 阿部 善也

D3011 (15:15～15:30) Cu-Zn触媒の粉末X線回折/Rietveld解析(明大¹・横浜市工業技術支援セ²・リガク³) ○中村 利廣^{1,3}・旭 智治²・萩原 健太¹・小池 裕也¹・大淵 敦司³

D3012 (15:30～15:45) 奥出雲地方で採取した岩石, 土壌, 砂鉄の分析-鉄製遺物の産地推定を目指して(福岡大理¹・千葉大理²・九大院理³・佐賀大経済⁴) ○市川 慎太郎¹・岡本 昌子¹・脇田 久伸¹・沼子 千弥²・横山 拓史³・長野 暹⁴・栗崎 敏¹

第4日(9月12日)

座長 池羽田 晶文

D4001 (9:00～9:15) レアメタルの土壌-植物移行に関する気候影響について(量研機構放医研) ○田上 恵子・内田 滋夫

D4002 (9:15～9:30) 磁場粒子測定法を用いた細胞の新規評価法の開発(カワノラボ) ○森 清香・河野 誠

D4003 (9:30～9:45) 赤外ATR法と重力沈降現象を利用する新規な粒子径計測法の開発-不連続な粒度分布に限定した新たな解析理論の構築とその検証(鹿児島大院理工) ○平部 雅人・吉留 俊史・肥後 盛秀

[PC設定時間]

座長 肥後 盛秀

D4004 (10:00～10:15) 近赤外による果実の糖度推定のメカニズム:NMR-NIRスペクトル相関解析による理解(農研機構食品研究) ○池羽田 晶文・上平 安紘・関山 恭代

D4005 (10:15～10:30) フタル酸溶液液を用いるイオン排除/陽イオン交換クロマトグラフィーによる清涼飲料水及びアルコール飲料中の無機及び有機イオンの同時分析(高知大理工¹・中部大食品栄養²・酪農大水圏科学³・中部大工⁴) ○小崎 大輔¹・谷畑 壮磨²・中村 理矩²・山本 敦²・中谷 暢丈³・森 勝伸¹・田中 一彦⁴

D4006 (10:30～10:45) Determination of scopoletin in tuber products using HPLC with fluorescence detection (Center For Agro-Based Industry¹・東京ノニ研²・九州保健福祉大薬³・長崎国際大薬⁴) ○Wijaya, Hendra¹・Wardayanie, Ning Ima Arie¹・Aviana, Tita¹・西垣 敏明²・中村 心一³・中島 憲一郎⁴・和田 光弘³

【 E 会 場 】

第2日(9月10日)

座長 沖野 晃俊

E2001 (9:00～9:15) CE-MSを用いたAl化学種の分離分析(東京海洋大院) ○星野 陽子・田中 美穂

E2002 (9:15～9:30) 新型質量分析器を用いた金属化合物の挙動解析(東理大院理工) ○岸本 直也・乗川 時王・野島 雅

E2003 (9:30～9:45) 真空紫外1光子イオン化マルチターン質量分析法を用いたリアルタイム分析技術の開発(新日鐵住金先端研¹・金沢大自然科学²・日鉄住金テクノロジー³) ○辻 典宏^{1,2}・藤部 康弘¹・鈴木 哲也³・西藤 将之¹・金橋 康二^{1,2}

[PC設定時間]

座長 野島 雅

E2004 (10:00～10:15) デュアルプラズマ表面付着物分析装置における表面基質の影響調査(東工大未来産業技術研) ○岡本 悠生・相田 真里・宮原 秀一・沖野 晃俊

E2005 (10:15～10:30) 表面支援レーザー脱離イオン化(SALDI)-MSのためのシリカモノリスプレートの最適構造の検討(名工大院工) ○野村 徳宏・飯國 良規・北川 慎也・大谷 肇

E2006 (10:30～10:45) 標準物質校正システムを用いた水質試験用の含ハロゲン有機混合標準物質へのSIトレーサブルな値付け方法の課題と解決方法(堀場エステック) ○佐々木 智啓・芳村 智孝・鳴上 翔士

E2007 (10:45～11:00) 四極子核定量²⁷Al NMRによるAl系水処理用凝集剤の加水分解反応解析(神戸大環境保全推進セ¹・神戸大院工²・神戸大工³) ○牧 秀志^{1,2}・オ ヨンジン³・水畑 穰²

座長 加藤 俊吾

E2008T (15:30～16:00) GC-MSによる糞便短鎖脂肪酸分析法(アニコム先進医療研¹・アジレント・テクノロジー²) ○Takeshi Furuhashi¹・Takao Uchikai¹・Kuniyo Sugitate²・Takashi Nakai²・Yusuke Jikumaru²・Genki Ishihara¹

座長 榊 飛雄真

E2009 (16:00 ~ 16:15) レーザー/プラズマ表面付着物マッピング質量分析装置における表面基質の影響調査 (東工大院未来研) ○相田 真里・岡本 悠生・河野 聡史・宮原 秀一・沖野 晃俊

[PC設定時間]

座長 酒井 達子

【有機微量分析研究懇談会】 E2010 (16:30 ~ 17:30) 有機元素分析法の創薬への活用 (大日本住友製薬) ○板東 敬子

第3日 (9月11日)

座長 植田 郁生

E3001 (10:15 ~ 10:30) ダイレクトヒーティング技術を搭載したGCによる油類の高速分析 (アジレント・テクノロジー¹・Agilent Technologies, Inc.²) ○太田 瀬 亮¹・中村 貞夫¹・James McCurry²

E3002 (10:30 ~ 10:45) タンデム μ -リアクター-GC/MSによるアルキルフェノールの脱アルキル化に向けたゼオライト触媒のスクリーニング (東北大院環境¹・フロンティア・ラボ²・東北大院理³) ○浅川 将輝¹・熊谷 将吾¹・亀田 知人¹・渡辺 壺²・寺前 紀夫^{2,3}・吉岡 敏明¹

E3003 (10:45 ~ 11:00) タンデム μ -リアクター-GC/MSによるポリエチレンテレフタレート油化生成物のオンライン分析 (東北大院環境¹・フロンティア・ラボ²・東北大院理³) ○熊谷 将吾¹・山崎 僚太¹・亀田 知人¹・渡辺 壺²・寺前 紀夫^{2,3}・吉岡 敏明¹

座長 前田 恒昭

【GC研究懇談会】 E3004 (11:00 ~ 12:00) ガスクロマトグラフィの新たな展開—定量NMRから求めたモル比を用いる一対多型の定量法の紹介— (産総研¹・国衛研²) ○北牧 祐子¹・斎藤 直樹¹・西崎 雄三²・杉本 直樹²・沼田 雅彦¹・井原 俊英¹

座長 野元 邦治

E3005 (13:15 ~ 13:30) 溜池遺跡出土土器灯明皿の元素分析と付着物の熱分析 (神奈川大理¹・東京都埋蔵文化財セ²) ○青柳 佑希¹・丸山 毅真¹・長佐古 真也²・西本 右子¹

座長 津越 敬寿

【熱分析研究懇談会】 E3006 (13:30 ~ 14:30) 試料観察熱分析による材料評価への適用と展望 (日立ハイテクサイエンス) ○西山 佳利

第4日 (9月12日)

座長 安井 孝志

E4001 (9:00 ~ 9:15) 水酸アパタイト抽出による水中微量重金属の定量 (明大理工) ○萩原 健太・小池 裕也・中村 利廣・相澤 守

E4002 (9:15 ~ 9:30) アルギン酸ゲルを利用するトリチウム分離とその抽出挙動 (福島大理工¹・福島大IER²) ○佐藤 常寿¹・高貝 慶隆^{1,2}

E4003 (9:30 ~ 9:45) 過酸化水素添加時の水酸化ランタン担体からのMo(VI), V(V), W(VI) の溶離挙動 (阿南高専¹・徳島大院先端技²・徳島大院理工³・愛媛大社会連携⁴) ○山田 洋平¹・椋田 千景²・村井 啓一郎³・高柳 俊夫³・藪谷 智規⁴

E4004 (9:45 ~ 10:00) β -ジケトン型配位子を担持したXAD7樹脂による13族金属、亜鉛の相互抽出分離 (京大化研¹・奈良教大²) ○大北 周太朗¹・梅谷 重夫¹・宗林 由樹¹・山崎 祥子²

[PC設定時間]

座長 高貝 慶隆

E4005 (10:10 ~ 10:25) 極性液相を固定化した固相抽出素子の開発と応用 (フロンティア・ラボ¹・東北大²・名工大³) ○石村 敬久¹・渡辺 忠一¹・寺前 紀夫^{1,2}・大谷 肇³

E4006 (10:25 ~ 10:40) 無極性固定相を化学結合させた固相抽出用マイクロスプリングコイルの開発 (フロンティア・ラボ¹・千葉県警科捜研²・東北大³・名工大⁴) ○鄭 甲志¹・渡辺 壺¹・渡辺 忠一¹・金子 毅²・寺前 紀夫^{1,3}・大谷 肇⁴

E4007 (10:40 ~ 10:55) 固相抽出における残留農薬成分の保持に対するODSシリカの性能評価 (名工大院工¹・名工大工²・日薬大³) ○塚本 将史¹・柳 一郎²・大室 智史³・前田 友梨¹・安井 孝志¹・高田 主岳¹・湯地 昭夫¹

E4008 (10:55 ~ 11:10) 非エンドキャップ型ODSシリカを用いた固相抽出におけるアセチルアセトンとその金属錯体の保持 (名工大院工¹・名工大工²・日薬大³) ○那須 静香¹・牧野 弘典²・大室 智史³・前田 友梨¹・安井 孝志¹・高田 主岳¹・湯地 昭夫¹

[PC設定時間]

座長 平山 直紀

E4009T (11:20 ~ 11:50) シリカモノリスを用いた迅速・簡便・試料前処理の最先端 (GLサイエンス) 太田 茂徳・○古庄 義明

E4010 (11:50 ~ 12:05) リン酸エステル化アミド型配位子の開発とイオン液体抽出系への応用 (原子力機構) ○杉田 剛・岡村 浩之・上田 祐生・長縄 弘親・下条 晃司郎

E4011 (12:05 ~ 12:20) アミドおよびウレア型抽出剤によるPt(IV) の抽出に関する分光学的解析 (原子力機構¹・佐賀大院工²) ○上田 祐生¹・杉田 剛¹・岡村 浩之¹・下条 晃司郎¹・長縄 弘親¹・森貞 真太郎²・川喜田 英孝²・大渡 啓介²

E4012 (12:20 ~ 12:35) パーフルオロヘキサノ酸を用いた均一液液抽出法と析出相の固体化による高倍率濃縮法への応用 (茨城大工¹・茨城工技セ²・物材機構³) ○斎藤 昇太郎¹・加藤 健²・山口 仁志³・五十嵐 淑郎¹

【 F 会 場 】

第1日 (9月9日)

座長 上本 道久

【チュートリアルセッション】 FS1001 (13:10 ~ 13:50) 実験ノートの適確な付け方 (千葉大) ○小熊 幸一

【チュートリアルセッション】 FS1002 (13:50 ~ 14:30) 実験器具の取り扱い方法 (都産技研セ) ○林 英男

【チュートリアルセッション】 FS1003 (14:30 ~ 15:10) 正しい溶液調製法, -何をどう取り, どう溶かすか-(宇都宮大院工) ○上原 伸夫

[PC設定時間]

座長 上原 伸夫

【チュートリアルセッション】 FS1004 (15:20 ~ 16:00) 不確かさに慣れる (産総研) ○城野 克広

【チュートリアルセッション】 FS1005 (16:00 ~ 16:40) 測定値を分析値にするための基礎知識 (明星大院理工) ○上本 道久

第2日 (9月10日)

座長 平 修

F2001 (9:00~9:15) β アレスチンを介した膜受容体の細胞内輸送を解析する光学的分析法の開発 (東大院理) ○竹之内 修・吉村 英哲・小澤 岳昌

F2002 (9:15~9:30) An assay method for evaluating cell fusion events using protein trans splicing-based split luciferase reconstitution (東大院理) ○李 喬婧・小澤 岳昌・吉村 英哲

F2003 (9:30~9:45) RNA結合タンパク質PUM-HDを用いた生細胞内RNA可視化分析法 (東大院理) ○吉村 英哲・山田 俊理・児島 友哉・島田 林太郎・小澤 岳昌

F2004 (9:45~10:00) Hybrid Raman-Fluorescence Imaging to Correlate Biochemical Information to Protein Expression in Living Cells (東大院理¹・阪大院工²・理研生命システム研究セ³・阪大免疫学フロンティア研究セ⁴) ○邱 亮達^{1,2}・市村 垂生³・藤田 英明^{3,4}・小澤 岳昌¹・藤田 克昌²

F2005 (10:00~10:15) 二分割蛍光タンパク質の再構成に基づいた遺伝的解析によるSUMO化タンパク質の探索 (東大院理) ○小宮 麻希・比留間 大祐・服部 満・小澤 岳昌

[PC設定時間]

座長 小澤 岳昌

F2007 (10:40~10:55) 人工核酸塩基識別のためのトンネル電流計測法の開発 (阪大産研¹・東大工²) ○大城 敬人¹・古畑 孝史²・植木 亮介²・山東 信介²・谷口 正輝¹

F2008 (10:55~11:10) 細胞内グルタチオン-S-トランスフェラーゼ活性を検出するためのプローブ開発 (名大物産¹・北大院薬²・名市大院薬³・岐阜大工⁴・名大院理⁵) ○友池 史明¹・宍戸 裕子²・藤川 遥加³・木村 康明⁵・柴田 綾⁴・周東 智²・阿部 洋⁵

F2009 (11:10~11:25) 微生物のバイオフィーム形成過程の追跡 (阪府大院工) ○富山 智大・斎藤 真希・椎木 弘・長岡 勉

F2010 (11:25~11:40) イメージングMSによる化学物質を原因とする肝疾患の解析 (福井県大¹・帝京大医²・徳島大医³) ○平 修¹・菊池 健太郎²・常山 幸一³・片野 肇¹

座長 角田 欣一

F2011 (13:15~13:30) カリウムイオンセンシング蛍光プローブ (Potassium sensing oligonucleotide, PSO) の高性能化の試み (九工大院工¹・九工大RCBT²) 黒田 正雄¹・○佐藤 しのぶ^{1,2}・竹中 繁織^{1,2}

F2012 (13:30~13:45) がんコンパニオン診断のためのフローサイトメトリー増感法 (九大院工¹・九大先端医療イノベセ²・九大未来化学セ³・九大分子システムセ⁴・CYCU, Taiwan⁵) ○片山 佳樹^{1,2,3,4,5}・登 貴信¹・神野 健太¹・岸村 顕広^{1,4}・森 健^{1,3}

F2013 (13:45~14:00) リガンド結合ドメインとサイズ双方を識別するタンパク質認識ナノ空間の創製 (神戸大院工) ○香門 悠里・竹内 俊文

[JAIMA賞講演] F2014 (14:00~14:30) シリコーン光学系を用いた小型高性能分光分析装置の開発 (ウシオ電機¹・九大²) ○森田 金市¹・興 雄司²

[PC設定時間]

座長 西澤 精一

[奨励賞講演] F2015 (14:40~15:10) 機械学習を活用したタンパク質分析法の開発と細胞評価への応用 (産総研バイオメディカル) ○冨田 峻介

座長 佐藤 雄介

F2016 (15:10~15:25) リゾチームに対するナフタレンスルホン酸類の結合挙動の比較検討 (九大院理) ○堤 絵梨・末永 正彦・竹原 公

F2017 (15:25~15:40) DNAを鋳型とするルテニウム-白金混合錯体の形成脱離と質量分析による核酸検出への応用 (熊本大院先端) ○北村 裕介・川口 隼也・船木 遼・井原 敏博

F2018 (15:40~15:55) IgA腎症モデルマウスの腎臓を用いたプロテオミクス解析 (秋大院理工¹・理研生命分子解析ユニット²・秋田大血液・腎・膠原病内科³) 佐藤 晶子¹・林 英輝¹・橋間 清香¹・松村 洋寿¹・○尾高 雅文¹・堂前 直²・齋藤 綾乃³・小松田 敦³・高橋 直人³・涌井 秀樹¹

[PC設定時間]

座長 片山 佳樹

F2019 (16:05~16:20) 白金ジラジカル錯体をプローブとして利用したがん細胞の光音響イメージング (東北大院環境¹・東北大院工²・東北大院医工³) ○佐藤 将貴¹・鈴木 敦子¹・伊野 浩介²・珠玖 仁²・西條 芳文³・壹岐 伸彦¹

F2020 (16:20~16:35) 金ナノ粒子凝集の単一クラスター解析を用いた疾病マーカー miRNAの高感度検出 (愛媛大院理工¹・愛媛大PROS²・理研³) ○矢野 湧暉¹・二艘木 優充¹・小川 敦司²・朝日 剛¹・前田 瑞夫³・座古 保¹

F2021 (16:35~16:50) 好熱菌 *Thermotoga maritima* 由来 Encapsulin のナノカプセルとしての応用を目指した自己集合能の評価 (秋大院理工) ○野中 衛・松村 洋寿・尾高 雅文・小川 信明

F2022 (16:50~17:05) 上皮成長因子担持金ナノ粒子が特異的に誘起するアポトーシス活性に対する脂質ラフトの関与 (物材機構MANA¹・農研機構²・神奈川大理³) ○山本 翔太¹・岩丸 祥史²・清水 善久¹・山口 和夫³・中西 淳¹

F2023 (17:05~17:20) 血液脳関門マイクロモデル開発のための共培養法と透過性試験法の開発 (群馬大院理工) ○岡崎 悟士・角田 欣一・佐藤 記一

第3日 (9月11日)

座長 金田 隆

F3001 (9:15~9:30) 部分導入キャピラリー電気泳動法を用いるガン細胞由来糖鎖の解析 (近畿大薬) ○山本 佐知雄・中住 智典・木下 充弘・鈴木 茂生

F3002 (9:30~9:45) キャピラリーゾーン電気泳動法によるヒドロクロロチアジドとその分解生成物の酸解離平衡の解析 (徳島大院社会産業理工¹・徳島大工²・徳島大院先端技術科学³) ○高柳 俊夫¹・磯田 昌志²・伊藤 大地³・水口 仁志¹

F3003 (9:45~10:00) SDSを用いたカーボンナノチューブのミセル動電クロマトグラフィー (徳島大院社会産業理工¹・徳島大工²・徳島大院先端技術科学³) ○高柳 俊夫¹・池内 伽奈子²・別役 優太³・水口 仁志¹

座長 北川 文彦

【奨励賞講演】 F3004 (10:00～10:30) オンライン試料濃縮法とを駆使した簡便かつ高感度なミクロスケール電気泳動システムの創出(理研QBiC¹・JST さきがけ²・阪大院生命機能³) ○川井 隆之^{1,2,3}

[PC設定時間]

座長 伊藤 一明

【イオンクロマトグラフィー研究懇談会】 F3005 (11:00～12:00) 燃焼イオンクロマトグラフィーによるハロゲン・硫黄自動分析システムの開発とアプリケーション(ナックテクノサービス) ○長嶋 潜

座長 江坂 幸宏

【電気泳動研究懇談会】 F3006 (13:00～14:00) 新しい分子系の発見のための電気泳動的アプローチ(埼玉大院理工) ○齋藤 伸吾

座長 高柳 俊夫

F3007 (14:00～14:15) 単一粒子検出キャピラリー電気泳動によるナノ粒子の観察(岡山大院自然) ○藤井 達也・金田 隆

F3008 (14:15～14:30) CEを用いた金属錯体の化学量論・錯体構造変化の観察(岐阜薬大¹・岐阜大院連合創薬²・愛知工大³) ○江坂 幸宏^{1,2}・中村 文音¹・村上 博哉³・山本 拓平¹・宇野 文二^{1,2}

座長 江坂 幸宏

【分析化学論文賞講演】 F3009 (14:30～15:00) フィールドフロー直交型電気クロマトグラフィーの開発(名工大院工) ○北川 慎也・目方 宏明・飯國 良規・大谷 肇

第4日(9月12日)

座長 菅原 一晴

F4001 (9:00～9:15) ベシクル内部から放出された化学物質のグラフェンアプタセンサによる検出(NTT物性基礎研¹・明星大²) ○上野 祐子¹・櫻村 吉晃¹・古川 一暁²

F4002 (9:15～9:30) Si基板上に形成したカチオン性脂質二分子膜によるベシクル融合効果(NTT物性基礎研¹・兵県工大²) ○大嶋 梓¹・住友 弘二²・中島 寛¹

F4003 (9:30～9:45) 伝導度計測に基づくペプチドのリン酸化の単分子検出(東工大理) ○原島 崇徳・西野 智昭

F4004 (9:45～10:00) 固体円二色性測定で解明する温度応答性高分子ゲル内でのDNA立体構造制御(東大院工¹・慶大院薬²・東理大総合研究機構³) ○秋元 文¹・蓮池 英里香²・黒田 玲子³・松川 滉¹・蛭田 勇樹²・金澤 秀子²・吉田 亮¹

[PC設定時間]

座長 蛭田 勇樹

F4005 (10:10～10:25) 指数関数的な増幅機能を有するDNAサーキットによる酵素フリーおよび室温でのmiRNAの検出(筑波大院数理解) ○大石 基・杉山 聡深

F4006 (10:25～10:40) HPLCによる核酸の吸着性評価(産総研物質計測標準) ○藤井 紳一郎・吉岡 真理子・高津 章子・加藤 愛

F4007 (10:40～10:55) DNA一塩基置換体の融解温度測定と円二色性スペクトル測定を併用する細胞接着性アプタマーの四重鎖構造の推定(東大院総文広域生命¹・山形大院理工²・日産化学工業³・JST さきがけ⁴) ○丸山 亮¹・吉富 徹¹・和山 文哉¹・真壁 幸樹²・古性 均³・吉本 敬太郎^{1,4}

F4008 (10:55～11:10) 糖タンパク質-ガラクトース認識タンパク質-電子伝達性ペプチド間相互作用のモニタリング(前橋工大¹・富山大院理工(理)²) ○菅原 一晴¹・倉光 英樹²・門屋 利彦¹

F4009 (11:10～11:25) 波長1000nmを超える近赤外(OTN-NIR)蛍光ナノ粒子による生体内深部の観察(東理大基礎工¹・東理大イメージングフロンティアセ²) ○上村 真生^{1,2}・曾我 公平^{1,2}

F4010 (11:25～11:40) 活性酸素種感受性青色蛍光大腸菌による環境毒性の蛍光可視化法の開発(京工織大院工芸科学) ○伊原 裕・岩上 諒太郎・柄谷 肇

【G会場】

第1日(9月9日)

座長 四反田 功

【シンポジウム講演】 GS1001 (13:00～13:30) 非侵襲・無拘束生体計測のためのキャピタス(窩腔)バイオセンサと生体ガス用バイオスニファ(東医歯大生材研) ○三林 浩二

【シンポジウム講演】 GS1002 (13:30～14:00) ウェアラブル生体電極hitoeを活用した生体情報センシング(NTT物性研) ○中島 寛・塚田 信吾

【シンポジウム講演】 GS1003 (14:00～14:30) Printed paper-based chemical sensing devices(慶應大理工) ○Citterio, Daniel・山田 健太郎・Ruecha, Nipapan

[PC設定時間]

座長 三林 浩二

【シンポジウム講演】 GS1004 (14:45～15:15) フレキシブル・プリンテッド有機エレクトロニクス技術のバイオセンサ分野への応用展開(山形大有機エレ研究セ) ○時任 静士

【シンポジウム講演】 GS1005 (15:15～15:45) 畜産動物健康モニタリングとIoT～Internet of Animal Health Things(東大院新領域) ○伊藤 寿浩

【シンポジウム講演】 GS1006 (16:00～16:30) 印刷技術を用いたバイオ燃料電池を搭載した自己駆動型センシングシステム(東理大理工) ○四反田 功

【シンポジウム講演】 GS1007 (16:30～17:00) 中赤外ATR分光法による非侵襲血糖値測定(東北大医工) ○松浦 祐司

第2日(9月10日)

座長 菅原 正雄

G2001 (9:00～9:15) 構造色変化に基づく生体分子を可視化検出するセンサーの開発(富山大院理工(工)) ○松本 浩平・菅野 憲・遠田 浩司

G2002 (9:15～9:30) レセプター/色素錯体を高分子架橋点とするオプティカルグルコースセンシングフィルムの開発(富山大院理工) ○北山 和志・日下部 智陽・菅野 憲・遠田 浩司

G2003 (9:30～9:45) チオコリンのプロモーター機能に基づくコリンエステラーゼ阻害剤の電気化学検出(熊本大院先端科学¹・長崎県警科捜研²) ○嶋田 裕史^{1,2}・野口 栞¹・勝田 陽介¹・北村 裕介¹・西山 勝彦¹・井原 敏博¹

G2004 (9:45～10:00) 有機リン酸系農薬残留物検出のための新規バイオセンサーの開発(九大院理) ○富安 幸仁・竹原 公

[PC設定時間]

座長 遠田 浩司

G2005 (10:10 ~ 10:25) 金属蒸着ガラス棒センサーの応答機構に関する研究 (24); 角形ガラス棒によるSPRセンサーの偏光による応答制御 (鹿児島大院理工) ○満塩 勝・肥後 盛秀

G2006 (10:25 ~ 10:40) 自動パッチシステムを用いる平面脂質二分子膜センサーの開発 (日大院総合基礎¹・バイオリサーチセ²・東葉大葉³) ○座本 大河¹・富永 総¹・西尾 将人²・東海林 敦³・菅原 正雄¹

G2007 (10:40 ~ 10:55) 単一巨大単層リポソームを用いるバイオセンサーの開発 (日大総合基礎) ○新田 雅貴・福田 裕之・菅原 正雄

G2008 (10:55 ~ 11:10) ポルフィリン修飾カードランセンサーを用いる水溶液中でのオリゴ糖分析 (東工大院理¹・阪大院工²・京都府大³) ○福原 学¹・佐々木 麻友子²・沼田 宗典³・森 直²・井上 佳久²

座長 栗田 僚二

【奨励賞講演】 G2009 (11:15 ~ 11:45) 分子認識性を賦与した光学及び電気化学センサデバイスの開発 (東大生研) ○南 豪

座長 福岡 隆夫

G2010 (13:15 ~ 13:30) 微小基板内蔵ピペットチップ型自動イムノセンシングシステムによる腫瘍マーカーの高感度検出 (神戸大院工¹・システム・インスツルメンツ²) ○高野 恵里¹・志村 宣明²・竹内 俊文¹

G2011 (13:30 ~ 13:45) 抗原修飾ヤヌス粒子を用いたイムノアッセイ法の開発 (東北大院環境¹・東北大工²・東北大院工³・東北大院医⁴・東北大材料科学研⁵) ○佐藤 (増子) さつき¹・井上 (安田) 久美¹・伊藤 健太郎²・Siti Masturah Fakhrudin¹・廣瀬 理美²・珠玖 仁^{2,3}・佐藤 文俊⁴・藪 浩⁵・末永 智一¹

G2012 (13:45 ~ 14:00) マイクロフルイデイクスを利用した微量タンパク質の新しい検出手法の開発 (東大院工¹・東大医付属病院²) ○森 絵美¹・深澤 毅倫²・吉崎 歩²・馬渡 和真¹・北森 武彦¹

G2013 (14:00 ~ 14:15) 血中ATPと乳酸測定のための電気化学センサーの開発 (北大院総合化学¹・北大院工²) ○水上 良平¹・西山 慶音¹・真栄城 正寿²・石田 晃彦²・谷 博文²・渡慶次 学²

G2014 (14:15 ~ 14:30) 紙とフィルムでつくる多項目分析チップと体外診断キットへの応用 (産総研) ○測脇 雄介・合谷 賢治・田中 正人

[PC設定時間]

座長 竹内 俊文

G2015 (14:45 ~ 15:00) 固体表面吸着物質同定用の圧着型SERS基板 (東洋大生命¹・理研²) ○Hiroyuki Takei¹・Kousuke Watanabe¹・Takashi Fujiki¹・Rika Aihara¹・Takayuki Okamoto²

G2016 (15:00 ~ 15:15) SERSナノビーコンを用いたゼブラフィッシュのin vivoイメージング (兵庫県大¹・アーカイラス²・サーモフィッシャーサイエンティフィック³) ○福岡 隆夫^{1,2}・二階堂 昌孝¹・山口 明啓¹・春井 里香³・奈良 明司³・内海 裕一¹・八田 公平¹

G2017 (15:15 ~ 15:30) レーザー励起ブレイクダウン分光装置を用いた布粘着テープの識別 (神奈川県警科捜研¹・フロリダ国際大²) ○阪柳 正隆¹・Jose R. Almirall²

G2018 (15:30 ~ 15:45) GC/MSによるヘリウムの分析に関する研究 (第3報) (福岡県警科捜研¹・九大院農²) ○辻田 明^{1,2}・長坂 麻美¹・岡崎 英彦¹・小川 晋¹・合田 明永¹・松井 利郎²

第3日 (9月11日)

座長 朱 彦北

G3001 (9:00 ~ 9:15) 黒鉛炉原子吸光法における吸光度プロファイルの減衰過程-2: $T_{\max} > 1000K$ 金属・酸化物原子化中間体元素- (徳島大院理工¹・徳島大総合²・上越教育大³) ○今井 昭二¹・山本 祐平¹・宮本 征弥²・峯崎 正樹³・小堺 久美子³

G3002 (9:15 ~ 9:30) 6.78MHzパルスグロー放電プラズマの励起特性-デューティ比の影響-(東北大金研) ○張 心月・我妻 和明

G3003 (9:30 ~ 9:45) 走査レーザー誘起プラズマ発光分析法による化成処理アルミニウム合金の表面被膜の面方向分析 (東北大金研) 中畑 翔子・柏倉 俊介・○我妻 和明

G3004 (9:45 ~ 10:00) 化学分離/プラズマ分光分析法による高純度希土類試薬中のScの定量 (産総研物質計測) ○和田 彩佳・野々瀬 菜穂子・三浦 勉

G3005 (10:00 ~ 10:15) 高感度化のための二重収束型ICP-MSにおけるジェットインターフェースの構造最適化 (産総研NMIJ¹・サーモフィッシャーサイエンティフィック²) ○野々瀬 菜穂子¹・大畑 昌輝¹・藤本 弘之¹・鍛島 麻理子¹・池本 徳孝²・三浦 勉¹

座長 古田 直紀

G3006 (13:15 ~ 13:30) レーザーアブレーションICP質量分析法によるナノパーティクルの分析 (東大理) ○平田 岳史・山下 修司・大林 秀行・吉國 由希久

G3007 (13:30 ~ 13:45) 液体標準添加/LA-ICP-MSによる固体試料中微量元素の定量分析法開発 (東レリサーチセ) ○藤崎 一幸・坂口 晃一・佐藤 信之

G3008 (13:45 ~ 14:00) LA-ICP-MSによるはんだの主成分元素と微量元素の定量 (東電大院工¹・産総研物質計測標準²) ○井戸 航洋^{1,2}・朱 彦北²・野々瀬 菜穂子²・保倉 明子¹・稲垣 和三²

[PC設定時間]

座長 平田 岳史

G3009 (14:15 ~ 14:30) 液中レーザーアブレーション法および同位体希釈分析法による炭化ケイ素中の微量元素の定量 (中大院理工¹・産総研²) ○広沢 光貴¹・藤原 正英¹・野々瀬 菜穂子²・西田 翔¹・古田 直紀¹

G3010 (14:30 ~ 14:45) 日本出土古代ソーダ石灰ガラスの鉛同位体比分析へのICP-MSの応用 (東理大理) ○今井 藍子・柳瀬 和也・阿部 善也・中井 泉

G3011 (14:45 ~ 15:00) タンデム四重極型ICP-MSを用いた酸素マスシフト法によるイオウ同位体比測定 (島根大) ○鈴木 美成

第4日 (9月12日)

座長 藤森 英治

G4001 (9:00 ~ 9:15) ICP-MSのリアクションセル内におけるイオン・ガス分子反応 (産総研物質計測標準¹・アジレント²) ○朱 彦北¹・中野 かずみ²・鹿籠 康行²

G4002 (9:15～9:30) ICP-MS/MSを用いたP分析における多原子イオン干渉除去機構の考察 (アジレント¹・アジレントインターナショナル²) ○溝渕 勝男¹・山田 憲幸²・行成 雅一¹

G4003 (9:30～9:45) 反応セル型ICP-MSにおける反応ガスとしての水の検討_その2 (アジレントインターナショナル) ○山田 憲幸・清水 恵理奈・近藤 高史

G4004 (9:45～10:00) 高イオン化ポテンシャル元素及び酸化物形成元素材料中の微量金属不純物分析 ～ICP-MSクールプラズマ法の応用とそのメカニズム～ (三菱マテリアル中研) ○Mohammad B. Shabani・河野 利哉・山田 正・梯 伸一郎

G4005 (10:00～10:15) クールプラズマ-ICP-MSによる高純度金属中のリンの定量分析について (三菱マテリアル中研) ○河野 利哉・シャバニ M.B

[PC設定時間]

座長 稲垣 和三

G4006 (10:30～10:45) キレート樹脂濃縮分離法を下水放流水に適用する際の共存EDTAによる妨害 (環境調査研究所¹・東薬大²) ○藤森 英治¹・永田 鈴佳²・青木 元秀²・熊田 英峰²・梅村 知也²

G4007 (10:45～11:00) ゲル内消化で生成したペプチドによるマウス肝臓中グルタチオンペルオキシダーゼの定量 (中大院理工) ○鈴木 和浩・田代 裕規・西田 翔・古田 直紀

G4008 (11:00～11:15) ガス微粒子化装置-ICPMSによる大気ガス成分に含まれる揮発性元素の定量 (中大院理工) ○高橋 康祐・西田 翔・古田 直紀

[PC設定時間]

座長 梅村 知也

G4009 (11:30～11:45) ICP-MS用傾斜シリンダー型スプレーチャンバーの設計開発 (SUMCO¹・産総研²) ○水野 泰輔¹・稲垣 和三²・藤井 紳一郎²・蛇川 順博¹・水田 匡彦¹

G4010 (11:45～12:00) プラズマ内のイオンイメージングから見るマトリクス効果の基礎的考察 (産総研) ○有賀 智子・朱彦北・稲垣 和三

【 H 会 場 】

第2日 (9月10日)

座長 加藤 大

【シンポジウム講演】 HS2001 (13:15～13:45) 自律駆動マイクロ流体チップを用いた迅速な核酸バイオマーカーの検出 (東理大院基礎工¹・理研²) ○長谷川 和貴¹・松本 睦良¹・細川 和生²・前田 瑞夫²

【シンポジウム講演】 HS2002 (13:45～14:15) 金属イオンの選択的分離のためのイオン液体抽出系 (原子力機構) ○岡村 浩之

【シンポジウム講演】 HS2003 (14:15～14:45) π 共役高分子の電子的摂動を活用した化学センサデバイスの構築 (東大生研) ○南木 創・南 豪

[PC設定時間]

座長 末吉 健志

【シンポジウム講演】 HS2004 (15:00～15:30) 生体分子の高感度検出を目的とした窒素ドーパカーボン薄膜電極の最適化 (産総研¹・千葉工大²・埼玉工大³) ○鎌田 智之¹・加藤 大¹・梅村 茂²・丹羽 修³

【シンポジウム講演】 HS2005 (15:30～16:00) 金ナノ粒子-ポリマハイブリッドの光学特性と細菌検出への応用 (阪府大院工) ○木下 隆将・Nguyen Quang Dung・椎木 弘・長岡 勉

[PC設定時間]

座長 下条 晃司郎

【シンポジウム講演】 HS2006 (16:15～16:45) 半導体量子ドットを用いた蛍光センシング材料 (埼玉大) ○福田 武司・宇高光・鈴木 美穂

【シンポジウム講演】 HS2007 (16:45～17:15) Pt蒸着支援脱離イオン化を用いた様々な表面のMSイメージング解析 (日産化学¹・北陸先端大²・関西大³) ○小澤 智行^{1,3}・大坂 一生²・川崎 英也³・荒川 隆一³

第3日 (9月11日)

座長 岡本 一夫

H3001 (9:30～9:45) 細菌産生型の高性能コポリエステルの反応熱分解GCによる土壌分解メカニズムの解明 (中部大応生¹・School of Industrial Technology, Universiti Sains Malaysia²・School of Biological Sciences, Universiti Sains Malaysia³) ○石田 康行¹・野々目 美菜¹・古山 容子¹・Siti Baidurah²・Paramasivam Murugan³・Kumar Sudesh³

H3002 (9:45～10:00) 熱分解GC/MSを用いるアクリル系粘着剤の分析 (フロンティア・ラボ¹・M&Wリサーチ²・東北大³) ○青野 真依¹・塩野 愛¹・浅井 聡²・渡辺 忠一¹・寺前 紀夫^{1,3}

H3003 (10:00～10:15) タンデム型パイロライザー-GC/MSを用いたセルロースの熱分解に対する酸化チタン触媒効果の解析 (名工大院工) ○井田 寛人・大谷 肇

H3004 (10:15～10:30) 熱分解GC/MSによるデンドリマーの化学構造解析 (フロンティア・ラボ¹・東北大²・名工大³・東工大化生研⁴・JST ERATO⁵) ○塩野 愛¹・寺前 紀夫^{1,2}・大谷 肇³・アルプレヒト 建^{4,5}・山元 公寿^{4,5}

H3005 (10:30～10:45) MALDI-MSイメージングによる高分子材料中の安定剤の分布及び状態分析 (名工大院工) ○端崎 里帆・山原 彩加・北川 慎也・飯國 良規・大谷 肇

座長 渡辺 健市

【高分子研究懇談会】 H3006 (10:45～11:45) 漆に関わる様々な分析 ～漆の硬化と手法の変化について～ (明大理工) ○本多 貴之

座長 石田 康行

H3007 (13:15～13:30) 部分酸化型鎖状白金六核錯体の物性およびその電子状態解析 (北大院理) ○吉田 将己・中島 愛梨・W. M. C. Sameera・小林 厚志・加藤 昌子

H3008 (13:30～13:45) 高分解能MALDI-TOFMSを中心にしたアクリル系多元共重合体の化学構造解析 (名工大院工¹・三菱ケミカル²) ○加古 敦¹・大谷 肇¹・木浦 正明²・金子 朝子²

H3009 (13:45～14:00) エポキシ樹脂硬化物の化学構造解析のためのテトラリンによる反応熱分解分析法の基礎検討 (名工大院工) ○酒井 駿・大谷 肇

【 I 会 場 】

第2日 (9月10日)

座長 片山 佳樹

【分析試薬研究懇談会】 I2001 (11:00～11:30) 特殊なジオチン化酵素反応系を利用した蛍光タンパク質によるラベル化技術の機能拡張 (九工大院情報工) ○末田 慎二

【分析試薬研究懇談会】 I2002 (11:30～12:00) DNA修飾ナノ粒子集合体の特異な異方構造形成: 分析化学への適用可能性 (理研) ○宝田 徹

座長 橋本 剛

I2003 (13:00～13:15) 配位原子の異なる二座配位子を用いた非対称な白金 (II) ジラジカル錯体の合成とその近赤外吸収特性 (東北大院環境) ○名本 洋輝・鈴木 敦子・壹岐 伸彦

I2004 (13:15～13:30) 配位不飽和サイトを有する配位高分子の核酸構成単位に対する吸着能 (東北大院環境) ○鈴木 敦子・益子 直己・壹岐 伸彦

I2005 (13:30～13:45) チタン (IV)-4-(2-ピリジルアゾ)-レソルシノール錯体の過酸化水素分析試薬としての特性評価 (東葉大¹・東北大多元研²) ○高村 喜代子¹・松本 高利²

I2006 (13:45～14:00) 神経伝達物質を高感度かつ高選択的に検出するための新規蛍光分析試薬の開発 (産総研) ○鈴木 祥夫・田中 睦生

[PC設定時間]

座長 鈴木 祥夫

I2007 (14:10～14:25) 両親媒性ボロン酸型蛍光プローブの糖認識機能評価 (上智大理工) ○納富 菜々・土戸 優志・鈴木 崇人・橋本 剛・早下 隆士

I2008 (14:25～14:40) フェニルボロン酸型蛍光プローブ/シクロデキストリン複合体を用いた選択的グルコース認識 (上智大理工) ○水田 祐司・杉田 巧・小嶋 渉平・土戸 優志・橋本 剛・早下 隆士

I2009 (14:40～14:55) フェニルボロン酸とルテニウム錯体修飾金微粒子とを用いた電気化学的細菌検出系の開発 (上智大理工¹・日大理工²) ○岸 弓乃¹・須川 晃資²・橋本 剛¹・遠藤 明¹・早下 隆士¹

[PC設定時間]

座長 久保埜 公二

I2010 (15:10～15:25) ボロン酸/デンドリマー複合体による細菌の簡易識別法の開発 (上智大理工) ○土戸 優志・堀内 良介・橋本 剛・早下 隆士

I2011 (15:25～15:40) ピレン修飾糖脂質の自己集合ナノ構造体を利用したアミノ酸の定性・キラルセンシング (産総研ナノ材料¹・産総研機能化学²・産総研フェロー³) ○亀田 直弘¹・増田 光俊²・清水 敏美³

I2012T (15:40～16:10) 半導体マイクロ波合成法による高輝度発光試薬の高純度迅速合成とLC-TOFによる精密質量分析 (ミネソラバイオ¹・アジレントテクノロジー²・産総研東北セ³・凌和電子⁴) ○松村 竹子¹・清水 尚登²・澤田 浩和²・西岡 将輝³・板垣 篤⁴

【 J 会 場 】

第2日 (9月10日)

座長 梅村 知也

【シンポジウム講演】 JS2001 (9:00～9:30) 大規模コホート調査で分析化学が果たす役割 (国環研) ○磯部 友彦・小林 弥生・岩井 美幸・中山 祥嗣

【シンポジウム講演】 JS2002 (9:30～10:00) 化学物質の曝露評価における曝露係数-曝露係数調査の紹介 (国環研¹・東洋大²) ○高木 麻衣¹・磯部 友彦¹・中山 祥嗣¹・吉永 淳²

【シンポジウム講演】 JS2003 (10:00～10:30) 生体試料を用いた環境化学物質の個人曝露量評価の意義と課題 (名市大院医¹・名大院医²) ○上島 通浩¹・伊藤 由起¹・上山 純²

座長 熊田 英峰

【シンポジウム講演】 JS2004 (10:30～11:00) 曝露源解析と分析化学-リスク管理に向けて (東洋大) ○吉永 淳

【シンポジウム講演】 JS2005 (11:00～11:30) 基準値と安全の科学: 放射線防護のリスク学 (福島県立医大) ○村上 道夫

【シンポジウム講演】 JS2006 (11:30～12:00) 環境疫学の難しさ楽しさ (自治医大) ○香山 不二雄

座長 佐藤 香枝

【シンポジウム講演】 JS2007 (13:00～13:30) 蛍光性ペプチド核酸プローブによるRNA検出・イメージング (東北大院理) ○西澤 精一

【シンポジウム講演】 JS2008 (13:30～14:00) 細胞接着性核酸アプタマーを利用する細胞分離・分析用足場材料の提案 (東大院総文広域生命) ○吉本 敬太郎

【シンポジウム講演】 JS2009 (14:00～14:30) 材料を用いる細胞メカノバイオロジーのアクティブウォッチング (物材機構) ○中西 淳

[PC設定時間]

座長 吉本 敬太郎

【シンポジウム講演】 JS2010 (14:45～15:15) 生命現象を探索するための光操作技術 (東大院総合文化) ○佐藤 守俊

【シンポジウム講演】 JS2011 (15:15～15:45) 生体環境を模した血管マイクロ実験室の構築 (日女大理) ○佐藤 香枝

【シンポジウム講演】 JS2012 (15:45～16:15) バイオアッセイのための生体模倣マイクロデバイスの開発 (群馬大院理工) ○佐藤 記一

【 K 会 場 】

第2日 (9月10日)

座長 岩畑 大悟

K2001* (9:00～9:15) 富士フィルムにおける解析技術センターの役割とR&D推進例 (富士フィルム R&D統括本部解析技術セ) ○宮下 陽介

K2002* (9:15～9:30) ハイスループット質量分析法を用いたElovl6阻害薬のリード探索フローの構築 (田辺三菱製薬) ○寺西 文恵・池田 智子・高宮 万里・櫻井 政昭

K2003* (9:30～9:45) ポリ塩化ビニルおよびポリカーボネートの化学構造変化に及ぼすアミンの影響 (豊田中研) ○加藤 雄一・須藤 栄一

K2004* (9:45～10:00) 高分子ソフトマテリアルにおける同種・異種界面の分析・解析 (日産アーク) 加藤 淳・○野呂 純二

[PC設定時間]

座長 安田 純子

K2005* (10:15 ~ 10:30) 各種分析による評価を通じた燃料電池部材の開発 (東レリサーチセ) ○佐藤 信之

K2006* (10:30 ~ 10:45) IRカットフィルター異物発生原因の『見える化』(日本電子) 山崎 良樹・三平 智宏・○高島 良子・西岡 秀夫

K2007* (10:45 ~ 11:00) ヘアケア技術開発における表面分析の応用 (花王) ○波部 太一・丹治 範文・石川 和高・井上 滋登・岡本 昌幸

[シンポジウム講演] KS2008 (11:00 ~ 11:30) 最先端分析研究の企業ソリューションへの展開 (味の素) ○宮野 博

座長 今任 稔彦

[シンポジウム講演] KS2009 (13:00 ~ 13:30) コンピュータ制御フロー化学分析: 環境測定への応用 (岡山大インキュベータ) ○本水 昌二

[シンポジウム講演] KS2010 (13:30 ~ 14:00) 新規検出器の開発と応用 - 分子鑄型法を中心として (阪府大院工) ○長岡 勉・椎木 弘

[PC設定時間]

座長 石松 亮一

K2011* (14:15 ~ 14:30) 臨床試験におけるFIAの活用 - 尿中のNO代謝物とクレアチニンの定量 - (高知大医¹・高知大地域連携²・小川商会³) 竹内 啓晃¹・吉金 優²・○樋口 慶郎^{2,3}

K2012* (14:30 ~ 14:45) モーメント解析 - 導電クロマトグラフィー (MA-EKC) による界面活性剤ミセル界面における溶質透過の速度解析 (立教大理) ○宮部 寛志・鈴木 望・渡邊 寿

K2013* (14:45 ~ 15:00) 液体クロマトグラフ - フローアナリティカルシステムによるアミノ基修飾二酸化チタン担持プレートの水質浄化性能評価 (群馬大院理工¹・原子力研究機構²・高知大教育研究部³) ○小林 健太郎¹・杉田 剛²・小林 謙一¹・山崎 太樹¹・森 勝伸³・板橋 英之¹

[PC設定時間]

座長 手島 紀雄

[シンポジウム講演] KS2014 (15:10 ~ 15:40) 流れ分析法による水質試験方法 (JIS K 0170) の改正概要 (横浜国大) ○中村 栄子

[シンポジウム講演] KS2015 (15:40 ~ 16:10) 遠心力駆動流れ分析法の開発と応用 (九大院工) ○今任 稔彦

[PC設定時間]

座長 鈴木 保任

K2016* (16:25 ~ 16:40) セレン-ジアミノナフタレン錯体の逆相/陽イオン交換型固相抽出剤への吸着挙動 (愛知工大) ○足立 雅典・三木 雄太・村上 博哉・井上 嘉則・手嶋 紀雄

K2017* (16:40 ~ 16:55) 全窒素の酸化分解/紫外光及びカラム還元・可視光同時検出FIA (愛知工大¹・三菱ケミカルアナリティック²) ○作田 成久¹・大野 慎介²・村上 博哉¹・林 則夫²・手嶋 紀雄¹

K2018* (16:55 ~ 17:10) ピロロピロール aza - BODIPY 誘導体の電気化学発光: フローインジェクション光分析用光源としての応用の検討 (九大院工) ○新宅 浩聡・石松 亮一・鹿毛 悠冬・清水 宗治・古田 弘幸・中野 幸二・今任 稔彦

K2019* (17:10 ~ 17:25) フロー電気化学発光によるピレンとベリレンの有機ラジカルイオンの吸収スペクトル検出法の開発 (九大院工) ○石松 亮一・中野 幸二・今任 稔彦

第3日 (9月11日)

座長 内村 智博

K3001 (9:00 ~ 9:15) 模擬燃料集合体加熱試験を用いた材料分析の検討 (1) 模擬燃料試験体加熱試験の評価概要 (原子力機構¹・化研²・日産アーク³) ○阿部 雄太¹・中桐 俊男¹・佐藤 一憲¹・中野 菜都子²・山口 英信³

K3002 (9:15 ~ 9:30) 模擬燃料集合体加熱試験を用いた材料分析の検討 (2) LIBSを用いた評価手法の検討 (化研¹・原子力機構²) ○川上 智彦¹・阿部 雄太²・Fabio Spaziani¹・中野 菜都子¹・中桐 俊男²

K3003 (9:30 ~ 9:45) 水中レーザー誘起ブレイクダウン分光法の定量化のためのプラズマ中での化学反応の解析 (京大工) ○作花 哲夫・本多 恭也・天野 健一・西 直哉

K3004 (9:45 ~ 10:00) Time-correlated single ion counting in time-of-flight femtosecond-laser-ionization mass spectrometry (Kyushu University) ○Tiantian Ju・Katsunori Yoshinaga・Hiroshi Nakamura・Adan Li・Tomoko Imasaka・Totaro Imasaka

K3005 (10:00 ~ 10:15) Femtosecond laser induced ionization and dissociation of pentachlorobenzene studied by time-of-flight mass spectrometry (Kyushu University, Japan¹・Yanshan University, China²) ○ADAN LI²・Phan Dinh Thang¹・Tomoko Imasaka¹・Totaro Imasaka¹

座長 作花 哲夫

K3006 (13:15 ~ 13:30) 多スペクトル並列検出を用いた単焦点共焦点ラマン顕微分光計によるハイパースペクトルイメージング高速化の試み (東大院理) ○島田 林太郎・邱 亮達・小澤 岳昌

K3007 (13:30 ~ 13:45) レーザー誘起単一ピコリットル微粒子への微量物質抽出挙動におけるアルコールの効果 (北大院総化¹・北大院理²) ○野島 明瑞美¹・三浦 篤志^{1,2}・喜多村 昇^{1,2}

K3008 (13:45 ~ 14:00) 単一エアロゾル油滴の相転移挙動のレーザー捕捉・顕微分光法 (北大院総化¹・北大院理²) ○中島 僚介¹・三浦 篤志^{1,2}・喜多村 昇^{1,2}

K3009 (14:00 ~ 14:15) セミマイクロHPLC・深紫外レーザー励起熱レンズ分光法による無標識アミノ酸の分離・検出 (九大院総理工) ○原田 明・當房 実咲・磯田 美紀

K3010 (14:15 ~ 14:30) レーザーイオン化質量分析法によるエマルジョン中微小液滴の検出 (福井大院工) ○藤田 千秋・内村 智博

K3011 (14:30 ~ 14:45) 質量分析法によるエマルジョン中油相成分の定量分析 (福井大院工) 深谷 拓史・○内村 智博

【 L 会場 】

第2日 (9月10日)

座長 今井 昭二

L2001 (9:00 ~ 9:15) 日本と韓国の降水組成の地域差と季節変動の長期調査 (2008 ~ 2013) 一低気圧のパターンと移動経路が与える影響一 (兵庫教大自然¹・秋田大工学資源²・福井大教育地域³・金沢工大環境⁴・京仁教育大学校 (韓国)⁵・韓国放送大学 (韓国)⁶・東海大学 (韓国)⁷) ○尾関 徹¹・河合 信之¹・小川 信明²・中田 隆二³・藤永 薫⁴・Hee-Jun Lim⁵・Ji-Ho Park⁶・Eun-Suk Jang⁷

L2002 (9:15 ~ 9:30) 腐植酸を保持したアルギン酸薄膜による海水中微量Cu (II) の優先除去 (阪府大院工) ○岩井 久典

L2003 (9:30 ~ 9:45) 木材中の微量元素組成とホウ素同位体比を用いた産地判別技術開発に向けた試み (東理大理¹・環境科学技術研²・森林研究整備機構³) ○柳沢 直哉¹・阿部 善也¹・高久 雄一²・安倍 久³・中井 泉¹

【技術功績賞講演】 L2004 (9:45 ~ 10:15) 自動前処理を組み込んだ超微量環境化学物質測定システムの開発 (島津) ○渡部 悦幸

[PC設定時間]

座長 尾関 徹

L2005 (10:25 ~ 10:40) 鉄 (III) イオンの競合下における有害金属イオンとフミン酸の錯生成定数の決定 (徳島大院社産理工¹・徳島大院総合²・徳島大総合³) ○山本 祐平¹・喜多 郁弥²・磯野 成美³・今井 昭二¹

L2006 (10:40 ~ 10:55) 本州の日本海沿いの山岳における降雪中のPb/Cd濃度比と石炭起源の影響 (徳島大院理工¹・徳島大総合²・県立広島大³・岩手大教育⁴) ○今井 昭二¹・清水 魁人²・兼清 恵理²・山本 祐平¹・西本 潤³・菊地 洋一⁴

L2007 (10:55 ~ 11:10) 蛍光X線分析法を用いた四国の樹氷と日本海沿いの遠隔地における降雪中の不溶性イオウのスペシエーション (徳島大院理工¹・リガク²・県立広島大³・岩手大教育⁴) ○今井 昭二¹・山本 祐平¹・山本 孝¹・児玉 憲治²・西本 潤³・菊地 洋一⁴

L2008 (11:10 ~ 11:25) 無機系不溶化剤の添加による自然由来汚染土壌のヒ素溶出抑制 (福島県環境創造セ¹・金沢大理工²・アルファグリーン³・金沢大院自然⁴) ○澤井 光¹²・池崎 真³・花田 慎³・齋藤 誠⁴・長谷川 浩²

L2009 (11:25 ~ 11:40) ジチオカルバミン酸修飾セルロース誘導体によるヒ素の捕集挙動 (金沢大院自然¹・金沢大理工²) ○宮口 真帆¹・伊藤 未来也¹・前田 勝治²・牧 輝弥²・長谷川 浩²

座長 鈴木 真一

【表示・起源研究懇談会】 L2010 (13:15 ~ 13:45) 法科学分野におけるICP-MS/MS及びLIBSの応用 (科学警察研) ○鈴木 康弘・杉田 律子

[PC設定時間]

座長 浅野 比

L2011 (14:00 ~ 14:15) 紫外線照射による妨害有機物質の分解とポルフィリン化合物を用いる水銀の接触定量 (山梨大院医工農) ○野村 裕昭・川久保 進・鈴木 保任・植田 郁生

L2012 (14:15 ~ 14:30) 酸素フラスコ燃焼法とCVAASを用いる食品試料の中の水銀分析 (鹿児島大院理工) ○杉安 雅貴・小濱 郁也・中島 常憲・高梨 啓和・大木 章

L2013 (14:30 ~ 14:45) 固体環境試料に含まれるフッ素の水環境への溶出と簡易分析 (鹿児島大院理工) ○中島 常憲・富士 龍正・高梨 啓和・大木 章

L2014 (14:45 ~ 15:00) 桜島火山降灰の微量元素分析と溶出挙動 (鹿児島大院理工) ○園田 愛留音・杉安 雅貴・中島 常憲・高梨 啓和・大木 章

L2015 (15:00 ~ 15:15) 石炭灰中のセレンおよびホウ素の分析におけるマイクロ波支援酸分解法の最適化 (鹿児島大理工¹・出光興産²) ○藤島 寛樹¹・古園 拓也²・中島 常憲¹・高梨 啓和¹・大木 章¹

[PC設定時間]

座長 中島 常憲

L2016 (15:25 ~ 15:40) 山口県山陽小野田市における大気中粒子状物質の人為由来成分分析 (山陽小野田市立山口東理大¹・山陽小野田市立山口東理大工²) ○浅野 比¹・白石 幸英²

L2017 (15:40 ~ 15:55) イオン液体を抽出媒体とした土壌および底質中のダイオキシン類の分析 (福岡県保環研) ○酒谷 圭一

L2018 (15:55 ~ 16:10) 火災に伴う土壌からの遺伝毒性の発現と多環芳香族炭化水素濃度との関係 (富山大院理工 (理)¹・富山大研究推進極東地研²) ○佐澤 和人¹・和田 直也²・倉光 英樹¹

L2019 (16:10 ~ 16:25) MEPSを用いた随伴水中の多環芳香族の簡易分析手法の検討 (国際石油開発帝石技術本部技術研) ○武蔵 龍太郎・小林 淳

【 M 会場 】

第2日 (9月10日)

座長 久本 秀明

【シンポジウム講演】 MS2001 (9:30 ~ 10:00) 格子状微小流路を利用する微粒子・細胞の分離選抜システム (千葉大工) ○山田 真澄・関 実

【シンポジウム講演】 MS2002 (10:00 ~ 10:30) fL-pL空間を利用した単一細胞・単一分析デバイスの開発 (東大院工) ○馬渡 和真・北森 武彦

[PC設定時間]

座長 山田 真澄

【シンポジウム講演】 MS2003 (10:40 ~ 11:10) キャピラリーアレイ型マイクロ分析デバイスにおける検出高感度化の試み (阪府大院工) ○久本 秀明

【シンポジウム講演】 MS2004 (11:10 ~ 11:40) 多次元HPLCによるキララアミノ酸・ヒドロキシ酸分析とアプリケーション (九大院薬) ○浜瀬 健司

座長 火原 彰秀

【シンポジウム講演】 MS2005 (13:00 ~ 13:30) 蛍光偏光イムノアッセイ装置の開発 (北大院工) ○渡慶次 学

【シンポジウム講演】 MS2006 (13:30 ~ 14:00) ナノピラーチップによる細胞外小胞の分離 (名大院工¹・JST さきがけ²) ○加地 範匡¹²・安井 隆雄¹²・馬場 嘉信¹

[PC設定時間]

座長 加地 範匡

【シンポジウム講演】 MS2007 (14:10 ~ 14:40) 多機能電極プローブによる生細胞・生体界面の局所分析 (東北大院工) ○珠 玖仁

【シンポジウム講演】 MS2008 (14:40～15:10) マイクロ水滴における選択的濃縮法 (東北大多元研¹・JST さきがけ²) ○火原彰秀¹・福山 真央^{1,2}

[PC設定時間]

座長 梅村 知也

【シンポジウム講演】 MS2009 (15:20～15:50) LVSEP-FASI法による電気泳動分析の高感度化 (弘前大院理工) ○北川 文彦

【シンポジウム講演】 MS2010 (16:10～16:40) 多検体同時分析を目的とした周波数分割多重化法を用いたnLC-IMSの開発 (名工大院工) ○北川 慎也・岸 博香・大谷 肇

座長 北川 文彦

【シンポジウム講演】 MS2011 (16:40～17:10) CEの解き明かす溶液内分子複合体の熱力学と速度論 (東北大院環境) ○壹岐伸彦

【シンポジウム講演】 MS2012 (17:10～17:40) 高効率な化学反応空間を提供するモノリス多孔体 (東薬大生命¹・名大院工²) ○梅村 知也¹・山本 和弘²

【 N 会 場 】

第2日 (9月10日)

座長 井上 嘉則

N2001* (9:00～9:15) 電場による泳動と膜透過による分離手法の展開 (熊本大院先端) ○大平 慎一・Willy Cahya Nugraha・戸田 敬

【シンポジウム講演】 NS2002 (9:15～9:45) 高分子プローブの流体抵抗に基づくDNAの電気泳動分離 (理研) ○宝田 徹

【シンポジウム講演】 NS2003 (9:45～10:15) 水を用いる分離・分析システム (東工大理) ○岡田 哲男

【シンポジウム講演】 NS2004 (10:15～10:45) ジルコニア固定相を用いるイオンクロマトグラフィー (高知大教育研究部) ○森 勝伸

[PC設定時間]

座長 森 勝伸

【シンポジウム講演】 NS2005 (11:00～11:30) 水を固定相として利用する水溶性化合物のための新奇抽出分離剤の設計 (愛知工大工) ○井上 嘉則

【シンポジウム講演】 NS2006 (11:30～12:00) フルオラス化学を利用した分離分析手法 (福岡大薬) ○巴山 忠

座長 大平 慎一

N2007* (13:00～13:15) 水溶液中からのイオン液体生成を利用する化学種の共抽出挙動 (甲南大理工) ○茶山 健二・岡崎 弘奈・棚田 帆南・外山 真理・岩月 聡史

N2008* (13:15～13:30) タンパク質医薬分析における免疫抽出とキャピラリー等電点電気泳動の直接結合 (福島医大医) ○志村 清仁

【シンポジウム講演】 NS2009 (13:30～14:00) 相分離混相流を利用した分離分析の学術的体系化と実用的技術改良の試み (同志社大院理工) ○塚越 一彦

【 O 会 場 】

第2日 (9月10日)

座長 火原 彰秀

O2001 (9:00～9:15) 単一過冷却水滴の凍結における溶質添加効果に関する研究 (広島大院理) ○福木 晃平・石坂 昌司

O2002 (9:15～9:30) 凍結濃縮を用いる溶存物質高感度検出への検討 (東工大理化) ○原田 誠・徳増 宏基・岡田 哲男

O2003 (9:30～9:45) 溶媒抽出による凍結水溶液への物質の溶解特性評価 (東工大理) ○柳澤 健介・原田 誠・岡田 哲男

[PC設定時間]

座長 原田 誠

O2004 (10:00～10:15) 磁性ナノ粒子の磁気配向二色性を利用する溶液内微小相互作用の検出 (INSD) ○渡會 仁・Sana Subhan Memon Sakurai

O2005 (10:15～10:30) 差動型ヘテロダイン誘導ラマン散乱顕微鏡による水に埋もれた表面微細構造の深さ定量三次元イメージング (東理大理) ○伴野 元洋・高橋 すみれ・由井 宏治

O2006 (10:30～10:45) コントラスト変調中性子小角散乱を用いたメソポーラスシリカ/ミオグロビン複合体の構造解析 (茨城大院量子線¹・CROSS東海²・産総研化学プロセス³) ○木島 惇¹・渋屋 祐太¹・山口 央¹・阿久津 和宏²・岩瀬 裕希²・福嶋 善章²・伊藤 徹二³

[PC設定時間]

座長 塚原 聡

【溶液界面研究懇談会】 O2007 (11:00～11:30) 生体高分子の高速構造と閉じ込め空間サイズの相関 (茨城大院量子線) ○山口 央・渋屋 裕太

【溶液界面研究懇談会】 O2008 (11:30～12:00) レーザー多光子イオン化法による油/水界面近傍の有機分子状態解析 (大分大理工) ○井上 高教

座長 永谷 広久

【JAIMA賞講演】 O2009 (13:00～13:30) 球回転型粘度計の開発 (京都電子工業¹・東大生産技術研²・東電機大³) ○倉内 奈美¹・保田 正範¹・平野 太一²・平野 美希²・細田 真妃子³・酒井 啓司²

O2010 (13:30～13:45) レーザー誘起表面変位顕微鏡を用いた動的粘弾性計測におけるタイムドメイン方式の導入による計測時間の高速化 (東理大) ○坂東 龍・森作 俊紀・由井 宏治

O2011 (13:45～14:00) 制限空間準弾性レーザー散乱法のマイクロ液界面測定への応用 (東工大理学院¹・東北大多元研²) ○遠藤 拓也^{1,2}・火原 彰秀^{1,2}・福山 真央²

[PC設定時間]

座長 北隅 優希

O2012 (14:15～14:30) 溶液/多孔質膜界面における電子移動反応の分光検出 (神戸大院海事¹・奈良教大教育²・群馬大院理工³) ○堀田 弘樹¹・宮崎 宣行²・二見 奈緒子³・植原 誠之³・角田 欣一³

O2013 (14:30～14:45) 液液界面をモデル反応場としたアントラサイクリン誘導体の膜反応機構の分光電気化学解析 (金沢大院自然) ○高見 俊成・山本 翔・永谷 広久・西山 嘉男・井村 久則

O2014 (14:45～15:00) Brust-Schiffirin ナノ粒子合成過程における金イオンの配位子置換反応 (京大原子炉¹・マンチェスター大²・ダイヤモンドライトソース³・龍谷大理工⁴・リーズ大⁵) ○上原 章寛¹・S.G. Booth²・S.Y. Chang³・今井 崇人⁴・S.L.M. Schroeder⁵・R.A.W. Dryfe²

O2015 (15:00 ~ 15:15) 酸化タングステンフォトクロミック現象とシクロデキストリン誘導体のキラル包接能を組み合わせたラベルフリー α -アミノ酸エナンチオ分析 (山口大院創成科学) ○阿座上 拓・安達 健太

O2016 (15:15 ~ 15:30) 逆相高速液体クロマトグラフィーを駆使した金属ナノクラスターの原子精度精密分離 (東理大理) ○根岸 雄一・小山 祐樹・島 大佑・渡邊 誠一郎・吉田 佳奈・新堀 佳紀

[PC設定時間]

座長 上原 章寛

O2017 (15:45 ~ 16:00) 金ナノ粒子をマスプローブとして用いるイメージング質量分析:ゼブラフィッシュ中の金ナノ粒子の体内動態 (鹿児島大院理工) 西 朋紀・井上 雄貴・向 大輝・○新留 康郎

O2018 (16:00 ~ 16:15) 銀イオンを脱離するナノ粒子マスプローブ (鹿児島大院理工) ○宮崎 貴義・新留 康郎

O2019 (16:15 ~ 16:30) 中空銀ナノシェルの特異な消光スペクトル変化の離散双極子近似シミュレーションに基づく解析 (和歌山大システム工) ○門 晋平・西浦 将司・矢嶋 摂子

O2020 (16:30 ~ 16:45) チオシアン酸銀の還元による中空銀ナノシェル生成反応の速度論的解析:チオシアン酸イオン濃度が反応速度に及ぼす影響 (和歌山大システム工) ○西浦 将司・門 晋平・矢嶋 摂子

O2021 (16:45 ~ 17:00) プラズモニック銅ナノ構造界面で生じる光触媒反応の機構解明 (日大理工) ○須川 晃資・恒成 夏弥・大月 穰

【 P 会 場 】

第2日 (9月10日)

Y2001 (10:30 ~ 11:30) 固体標準試料を用いないLA-ICP-MSの検討 (東理大院総合化学¹・都立産技研セ²) ○早川 大樹¹・林英男²・川口 雅弘²・渡邊 禎之²・湯川 泰之²・庄野 厚¹

Y2002 (10:30 ~ 11:30) 水の微量元素組成による地域特性化の試み (東理大理) ○平岡 達也・柳沢 直哉・阿部 善也・中井 泉

Y2003 (10:30 ~ 11:30) 微量元素B, Liからみた熊本市地下水の起源解析 (関学大理工¹・熊本大²) ○杉本 直人¹・細野 高啓²・谷水 雅治¹

Y2004 (10:30 ~ 11:30) 様々な地球化学標準物質からの高回収率・高分離能のNi単離手法の確立と高精度同位体分析 (関学大院理工¹・京大化研²・関学大理工³) ○小林 裕基¹・高野 祥太郎²・谷水 雅治³

Y2005 (10:30 ~ 11:30) ドロプレット試料導入ICP-MS/AESを用いた単一ヒト細胞内Caの分析 (東工大未来産業技術研¹・関学大理工²・東工大先導原子力研³) ○河野 聡史¹・相田 真里¹・三宅 智子¹・岩井 貴弘²・宮原 秀一¹・島田 幹男³・松本 義久³・千葉 光一²・沖野 晃俊¹

Y2006 (10:30 ~ 11:30) 光還元・沈殿生成反応によるパラジウム分離法の開発—エタノール添加によるPdの溶存状態変化と回収率の関係— (原子力機構¹・量研機構²) ○蓬田 匠¹・浅井 志保¹・佐伯 盛久²・半澤 有希子¹・堀田 拓摩¹・江坂 文孝¹・大場 弘則²・北辻 章浩¹

Y2007 (10:30 ~ 11:30) 高分解能型ICP質量分析計によるナノパーティクルの高感度分析 (東大理¹・順天堂大²) ○山下 修司¹・吉國 由希久¹・大林 秀行¹・松川 岳久²・平田 岳史¹

Y2008 (10:30 ~ 11:30) 2,4ジヒドロキシベンズイル安息香酸を用いるメラトニンの蛍光光度法について (阪薬大¹・大分大附属病院薬剤部²・大阪信愛女学院³・サエラ薬局⁴) ○佐野 匠¹・野浦 梓¹・山口 敬子¹・松村 人志¹・中村 良介²・藤田 芳一^{1,3,4}

Y2009 (10:30 ~ 11:30) EDTA存在下、*o*-プロモフェニルフルオロン - Ti (IV) 錯体の生成を利用したH₂O₂の吸光度定量法の開発について (阪薬大¹・大分大附属病院薬剤部²・大阪信愛女学院³・サエラ薬局⁴) ○三木 麻理恵¹・柏木 翔和¹・結城 満莉乃¹・山口 敬子¹・松村 人志¹・中原 良介²・藤田 芳一^{1,3,4}

Y2010 (10:30 ~ 11:30) Fluorescent enhancement and application to bacterial sensing (阪府大院工) ○Nguyen, Quang Dung・木下 隆将・中西 聖嗣・椎木 弘・長岡 勉

Y2011 (10:30 ~ 11:30) 局在表面プラズモン共鳴 (LSPR) センサーにおける貴金属ナノ構造体の安定化検討及び抗体結合検出への応用 (東洋大院生命科学¹・東洋大生命科学²・東洋大バイオナノ³) ○原口 はづき¹・竹井 弘之^{2,3}

Y2012 (10:30 ~ 11:30) *o*-カルボキシフェニルフルオロンとガリウム (III) を用いるラクトフェリン定量法の開発について (阪薬大¹・大阪信愛女学院²・サエラ薬局³) ○田川 夏美¹・斉藤 瑞希¹・木原 愛美¹・山口 敬子¹・松村 人志¹・柏木 翔和¹・藤田 芳一^{1,2,3}

Y2013 (10:30 ~ 11:30) *o*-カルボキシフェニルフルオロンと鉄 (II) を用いる過酸化脂質の吸光度定量法の開発について (阪薬大¹・大分大附属病院薬剤部²・大阪信愛女学院³・サエラ薬局⁴) ○岡島 龍斗¹・柏木 翔和¹・久保田 望海¹・浅田 翔太¹・山口 敬子¹・松村 人志¹・中原 良介²・藤田 芳一^{1,3,4}

Y2014 (10:30 ~ 11:30) *o*-スルホフェニルフルオロンとカルシウム (II) の呈色反応における界面活性剤関連物質の影響 (阪薬大¹・大阪信愛女学院²・サエラ薬局³) ○西庵 真代¹・戸塚 藍子¹・山口 敬子¹・松村 人志¹・藤田 芳一^{1,2,3}

Y2015 (10:30 ~ 11:30) *o*-カルボキシフェニルフルオロンとパラジウム (II) を用いる生体関連硫黄化合物の吸光度測定法について (阪薬大¹・神戸市医療セ薬部²・大阪信愛女学院³・サエラ薬局⁴) ○中山 穂乃花¹・末廣 春佳¹・山口 敬子¹・松村 人志¹・森本 茂文²・藤田 芳一^{1,3,4}

Y2016 (10:30 ~ 11:30) *o*-カルボキシフェニルフルオロンを用いる亜鉛 (II) の吸光度定量法の開発 (阪薬大¹・大阪信愛女学院²・サエラ薬局³) ○児島 千裕¹・池澤 和弥¹・山口 敬子¹・松村 人志¹・藤田 芳一^{1,2,3}

Y2017 (10:30 ~ 11:30) 管径方向分配現象を利用した液液光導波路の構築とそのキャラクターゼーション (群馬大院理工) ○上岡 拓弥・塩田 葉那・中村 真奈美・佐藤 記一・角田 欣一

Y2018 (10:30 ~ 11:30) 蝶鱗におけるSERS効果:部分的構造変化による変化 (東洋大院生命科学¹・東洋大生命科学²・東洋大バイオナノセ³・University of Bielefeld⁴) ○長田 一輝¹・竹井 弘之^{2,3}・Natalie Frese⁴・Armin Goelzhaeuser⁴

Y2019 (10:30 ~ 11:30) 鉄-クロロフィリン錯体を発光基質とするルテニウム (III) の時間計測-化学発光分析 (茨城大¹・宇都宮大²) ○増渕 由樹^{1,2}・遠藤 大介¹・上原 伸夫²・五十嵐 淑郎¹

- Y2020 (10:30 ~ 11:30) 表面増強ラマン散乱による増強ピークの時間変化と安定性の追跡 (日大院工¹・日大工²) ○長鈴 知樹¹・佐々木 健太¹・沼田 靖²・田中 裕之²
- Y2021 (10:30 ~ 11:30) 疎水性相互作用制御による金ナノ粒子二次元組織化膜の作製と分光特性 (九大院工¹・東大生研²) ○弥永 洋平¹・迫 敬往¹・石田 拓也²・高橋 幸奈¹・山田 淳¹
- Y2022 (10:30 ~ 11:30) 多変量解析を用いた微量分析に向けたラマンスペクトル解析法の開発 (日大院工¹・日大工²) ○小林 隼人¹・沼田 靖²・田中 裕之²
- Y2023 (10:30 ~ 11:30) 顕微ラマン分光装置を用いたアルコール水溶液の簡易定量分析 (日大工) ○佐々木 健太・沼田 靖・田中 裕之
- Y2024 (10:30 ~ 11:30) テラヘルツ波帯スペクトルの多変量解析による物質識別に関する研究 (秋田大院理工) ○主濱 勇人・倉林 徹・淀川 信一・高坂 諭
- Y2025 (10:30 ~ 11:30) レーザー多光子イオン化法による水溶液表面の分析 (大分大工) ○坂入 良也・井上 高教・甲斐 徳久
- Y2026 (10:30 ~ 11:30) 酸塩基中和反応を利用する液/液光導波路のキャラクタリゼーション (群馬大院理工) ○浪岡 耕平・芳澤 理志・佐藤 記一・角田 欣一
- Y2027 (10:30 ~ 11:30) 空気中および油中におけるサブマイクロリットルの微小水滴の光ヘテロダイン干渉法による固有振動数の測定 (京大) ○中原 幸紀・山下 慎二・天野 健一・西 直哉・作花 哲夫
- Y2028 (10:30 ~ 11:30) 酒石酸およびそのアルカリ金属塩の電子状態 (8) (龍谷大理工¹・富山大院理工²) ○中村 亮太¹・藤原 学¹・原田 忠夫¹・大澤 力²
- Y2029 (10:30 ~ 11:30) 高分解能X線光電子分光法による酸素グロー放電酸化金薄膜の各種水溶液との反応に関する研究 (鹿児島大院理工¹・鹿児島大機器分析セ²) ○小野 加寿麻¹・満塩 勝¹・肥後 盛秀¹・久保 臣悟²
- Y2030 (10:30 ~ 11:30) 井桁構造レジスト基板を用いた全反射蛍光X線分析における測定再現性の向上 (阪市大院工¹・日本電子²) ○蓬田 直也¹・小入羽 祐治²・辻 幸一¹
- Y2031 (10:30 ~ 11:30) 非破壊分析によるアケメネス朝の古代ガラスの生産および製法の解明 (東理大理¹・古代エジプト美術館²) ○吉田 健太郎・阿部 善也¹・菊川 匡²・中井 泉¹
- Y2032 (10:30 ~ 11:30) 単細胞藻類 *Chlamydomonas reinhardtii* に蓄積された白金の蛍光X線分析 (東京電機大工¹・産総研²) ○西之坊 拓弥¹・今村 悠¹・保倉 明子¹・熊谷 和博²
- Y2033 (10:30 ~ 11:30) 薄膜・多層膜の埋もれた界面の新しい分析法の開発 -X線反射率と蛍光X線の複合-(筑波大院数理物質¹・物材機構²) ○小林 治哉^{1,2}・桜井 健次^{1,2}
- Y2034 (10:30 ~ 11:30) 2つのアゾ基を有する色素分子アルキル誘導体の熱的挙動 (東理大理) ○高橋 朋実・本田 暁紀・野元 邦治・宮村 一夫
- Y2035 (10:30 ~ 11:30) 示差走査熱量測定を用いた芳香族アゾ化合物アルキル誘導体の熱的挙動 (東理大理) ○松本 和真・本田 暁紀・野元 邦治・宮村 一夫
- Y2036 (10:30 ~ 11:30) アルキル基を導入したアデニン - チミン分子の混合系の熱的挙動 (東理大理) ○君島 彩花・本田 暁紀・野元 邦治・宮村 一夫
- Y2037 (10:30 ~ 11:30) 固相抽出媒体を用いる迅速スクリーニング法による薬物-金属イオン間相互作用の網羅的かつ微細解析の検討 (東薬大院薬¹・東薬大薬²) ○守岩 友紀子¹・鈴木 菜穂子²・藤本 和史²・東海林 敦^{1,2}・柳田 顕郎^{1,2}
- Y2038 (10:30 ~ 11:30) 親水性相互作用クロマトグラフィーを用いたLC/MSによる親水性金クラスターの組成分布評価 (東理大院総合化学¹・東理大院理²) ○島 大佑¹・吉田 佳奈²・新堀 佳紀¹・根岸 雄一²
- Y2039 (10:30 ~ 11:30) 超薄層クロマトグラフィー用シリカ薄膜の自発成長法による形成条件 (弘前大院理工) ○四戸 健太・北川 文彦・糠塚 いそし
- Y2040 (10:30 ~ 11:30) PTFEチューブを分離場とするアミロイド線維の分離分析 (日大院生産工¹・日大生産工²) ○長嶋 恭介¹・朝本 紘充²・中釜 達朗²・齊藤 和憲²・南澤 宏明²
- Y2041 (10:30 ~ 11:30) ナフィオンチューブを用いる微量陰イオンのオンライン濃縮 (徳島大薬¹・徳島大院医歯薬²) ○島田 祐依¹・田中 秀治^{1,2}・竹内 政樹^{1,2}
- Y2042 (10:30 ~ 11:30) HPLCによる超高温水中の酸塩基平衡の温度依存性の解析と温度によるアミノ酸のイオン交換分離選択性制御への展開 (埼玉大院理工) ○萩原 将新・半田 友衣子・齋藤 伸吾・渋川 雅美
- Y2043 (10:30 ~ 11:30) 水を移動相とするアيسクロマトグラフィー (東工大理学院) ○岡田 悠佑・岡田 哲男
- Y2044 (10:30 ~ 11:30) HPLC-PR-CL法を利用したN-ニトロソジメチルアミン前駆物質の探索と評価 (鹿児島大院理工¹・長崎大院工²) ○谷末 武人¹・児玉谷 仁¹・藤岡 貴浩²・神崎 亮¹・富安 卓滋¹
- Y2045 (10:30 ~ 11:30) プロリン誘導体高分子ゲル修飾シリカゲルを用いた温度応答性クロマトグラフィーの検討 (慶大院薬) ○西本 泰平・長瀬 健一・金澤 秀子
- Y2049 (10:30 ~ 11:30) 含酸素有機化合物の原子発光検出における分子構造依存性改善のためのキャピラリーGC用オンライン小型予備分解デバイスの試作 (日大院生産工¹・日大生産工²) ○佐藤 達哉¹・齊藤 和憲²・中釜 達朗²
- Y2050 (10:30 ~ 11:30) 加熱脱着-ガスクロマトグラフィー質量分析による花粉マーカーの探索 (熊本大院自然¹・熊本大院先端²) ○佐伯 健太郎・溝口 竣介¹・山崎 大¹・大平 慎一²・戸田 敬²
- Y2051 (10:30 ~ 11:30) メタロホスト担持樹脂を用いた海水中リチウムイオンの分離と定量 (千葉大院融合理工¹・千葉大院理²) ○中村 俊裕¹・勝田 正一²
- Y2052 (10:30 ~ 11:30) 種々のイオン液体/水二相系における8-キノリノールとその共役酸・塩基の分配挙動 (千葉大院理) ○辺 洪明・勝田 正一
- Y2053 (10:30 ~ 11:30) 種々のイオン液体によるセシウム及びナトリウムイオンの抽出挙動 (千葉大院理) ○石橋 和樹・勝田 正一
- Y2054 (10:30 ~ 11:30) Htta及びその類縁体を用いたイオン液体キレート抽出におけるアニオン性化学種抽出の機構 (東邦大理¹・原子力機構²) ○山田 佳林¹・江口 綾乃^{1,2}・森田 耕太郎¹・平山 直紀¹
- Y2055 (10:30 ~ 11:30) 環境配慮型均一液抽出による脂溶性ビタミンの前段濃縮およびHPLC一斉定量の検討 (茨城大工) ○和賀 菜苗・上山 有香子・一場 翼・木村 成伸・五十嵐 淑郎

- Y2056 (10:30～11:30) 水相中プルシアンブルー合成と均一液抽出によるセシウムイオンの高倍率濃縮 (茨城大工¹・物材機構²・福島高専³) ○小野寺 大輝¹・山口 仁志²・押手 茂克³・熊沢 紀之¹・五十嵐 淑郎¹
- Y2057 (10:30～11:30) 羊毛の改質による固相抽出担体の開発と金属イオンの分離・回収法への応用 (茨城大工¹・日化テクノサービス²・物材機構³) ○浅川 珠帆¹・斎藤 昇太郎¹・尾島 沙希子¹・櫻井 恵太²・佛願 道男²・山口 仁志³・大野 修¹・五十嵐 淑郎¹
- Y2058 (10:30～11:30) ベタイン型界面活性剤の曇点抽出による高濃度金ナノ金平糖のワンポット合成抽出法 (福島大理工¹・Wake Forest Univ.²・福島大IER³) ○森 萌芽¹・Willie Hinze²・高貝 慶隆³
- Y2059 (10:30～11:30) ナイロンナノファイバーフィルターを用いる超微量ニッケル及び銅の迅速な濃縮と比色分析 (徳島大院理工¹・安積濾紙²・福井大院工³・山形大院理工⁴) ○石田 亮太¹・河野 泰志²・橋 忠彦²・本田 知己³・木島 龍朗⁴・高柳 俊夫¹・水口 仁志¹
- Y2060 (10:30～11:30) トリオクテルアンモニウム系イオン液体を用いたパラジウム (II) の高倍率抽出濃縮 (千葉大院理¹・千葉大理²) ○河原 完至¹・樋口 祥多²・勝田 正一¹
- Y2061 (10:30～11:30) 温度応答性高分子修飾シリカを充填剤とした細胞分離カラムの開発 (慶應大薬) ○稲永 大夢・永田 勇貴・長瀬 健一・金澤 秀子
- Y2062 (10:30～11:30) 低疎水性イオン液体添加によるイオン液体アニオン交換抽出の制御 (東邦大理) ○中川 知子・森田 耕太郎・平山 直紀
- Y2063 (10:30～11:30) 1-(2-ピリジルアゾ)-2-ナフトールを用いる多価金属イオンのイオン液体キレート抽出 (東邦大理) ○津崎 航・森田 耕太郎・平山 直紀
- Y2064 (10:30～11:30) 修飾ポリエチレンイミン型含水樹脂を用いたキシレン溶液からのパラジウム回収 (富山大院理工 (工)) ○小幡 一誠・宇田 貴尋・源明 誠・井上 嘉則・加賀谷 重浩
- Y2065 (10:30～11:30) 抗体の精製に応用した温度応答性クロマトグラフィーの評価 (慶大院薬) ○池田 幸司・秋丸 倫子・大久保 廣平・大阿久 絢加・蛭田 勇樹・長瀬 健一・金澤 秀子
- Y2066 (10:30～11:30) ビピリジン基を修飾したSBA-15による金属イオンの吸着 (山口大院創成科学) ○福澤 洋佑・藤原 勇・村上 良子
- Y2067 (10:30～11:30) リガンド修飾糸を用いるタンパク質連続分離システムの開発 (北見工大) ○久保 竜太郎・久保田 早貴・齋藤 徹
- Y2068 (10:30～11:30) 温度応答性クロマトグラフィーを用いたタンパク質精製、細胞分離への応用 (慶大院薬¹・東大院工²) ○永田 勇貴¹・大阿久 絢加¹・秋元 文²・長瀬 健一¹・金澤 秀子¹
- Y2069 (10:30～11:30) 温度応答性高分子およびRGDペプチドを用いた細胞分離法の検討 (慶應大薬) ○志村 昌紀・花屋 賢悟・蛭田 勇樹・長瀬 健一・金澤 秀子
- Y2070 (10:30～11:30) シッフ塩基担持層状複水酸化物への金属イオンの吸着と応用 (山口大院創成科学) ○仙田 直也・藤原 勇・村上 良子
- Y2071 (10:30～11:30) メンブレンフィルター濃縮とLEDを用いる反射吸光度検出器を組み合わせたモリブデンブルー法によるリン、ヒ素 (III), ヒ素 (V) の逐次定量法の開発 (山梨大院生命環境¹・山梨大院医工²・岡山大インキュベーションセ³・山梨大教育⁴) ○池田 歩¹・鈴木 保任²・本水 昌二³・山根 兵⁴・川久保 進²
- Y2101 (15:00～16:00) 赤城大沼における放射性セシウムの底質と湖水間の分配係数の測定 (群馬大院理工¹・高知大教育研究部²・群馬県水産試験場³・東京都市大学⁴) ○長谷川 涼¹・相澤 省一¹・佐藤 記一¹・角田 欣一¹・権田 貴裕¹・森 勝伸²・湯浅 由美³・鈴木 究真³・渡辺 峻³・新井 肇³・久下 敏宏³・岡田 住子⁴
- Y2102 (15:00～16:00) 凍結による電気化学測定の高感度化 (東工大院理) ○福井 義春・原田 誠・岡田 哲男
- Y2103 (15:00～16:00) ルミノールのカソードイック電気化学発光によるポリフェノール化合物の抗酸化能評価の検討 (信州大理¹・八光電機²) ○森角 祐馬¹・長井 滉哉¹・高橋 史樹¹・金 継業¹・原 哲史²・ロイド テイ サートン²・柴田 路子²
- Y2104 (15:00～16:00) グラフェン-金ナノコンポジット修飾グラッシーカーボン電極によるグルコースの電気化学的検出 (信州大理) ○長嶋 恵里佳・Trisna Kumala, Sari・高橋 史樹・金 継業
- Y2105 (15:00～16:00) カフェイン酸の電解酸化機構の解明 (神戸大院海事¹・神戸大院農²・神戸大院理³) ○松本 健嗣¹・堀田 弘樹¹・木村 行宏²・大堺 利行³
- Y2106 (15:00～16:00) ラジカルカチオンの安定化を目的としたピレン誘導体の合成とその電気化学および電気化学発光特性の解明 (九大院工) ○岡田 拓也・石松 亮一・田代 修也・中野 幸二・今任 稔彦
- Y2107 講演中止
- Y2108 (15:00～16:00) 重合度の異なるPVCを用いたイオン選択性電極膜のパルスNMR法による物性評価 (阪工大工) 森内 隆代・○吉村 科学・浦濱 圭彬
- Y2109 (15:00～16:00) 新規ポリウレタンを用いた唾液硝酸イオン計測用FETセンサ (神戸大院人間発達¹・産総研²・阪工大応用化学³) ○大崎 脩仁^{1,2}・森内 隆代³・脇田 慎一^{1,2}
- Y2110 (15:00～16:00) ビベットチップ内壁を反応場とするオンサイト測定用蛍光検出システムの開発 (首都大院都市環境¹・東薬大薬²・メビウスAT³) ○長嶋 萌子¹・森岡 和夫²・中嶋 秀¹・辺見 彰秀³・曾 湖烈¹・加藤 俊吾¹・内山 一美¹
- Y2111 (15:00～16:00) 分子インプリントポリマー膜を用いる水晶振動子ヘパリンセンサ (芝浦工大) ○引地 敦・有田 智彦・六車 仁志・吉見 靖男
- Y2112 (15:00～16:00) 生体高分子に応答して明瞭多彩な色調変化を示す薄膜型センサーの創製 (北見工大院¹・北見工大²) ○中橋 一誌¹・Seong-Eun Pyeon²・兼清 泰正^{1,2}
- Y2113 (15:00～16:00) イオン選択性オプトード法によるカルシウムイオン分析に向けた距離検出型マイクロ流体紙基板分析デバイス (慶大院理工) ○柴田 寛之・蛭田 勇樹・Citterio, Daniel
- Y2114 (15:00～16:00) モレキュラーインプリントポリマーモノリスのインピーダンス測定によるリゾチームの選択的定量分析法の開発 (名工大院工) ○中村 友香・北川 慎也・大谷 肇

- Y2115 (15:00～16:00) 電子伝達媒介物質を使用しないフラビンアデニンジスクレオチド依存グルコースデヒドロゲナーゼを用いるバイオセンサ (芝浦工業大学¹・産業技術総合研究所²)
○石田 和也¹・六車 仁志¹・岩佐 尚徳²・平塚 淳典²・鶴沢 浩隆²
- Y2116 (15:00～16:00) 発光型センシングタンパク質を用いた血中抗体測定用紙基板分析デバイス (慶大院理工¹・Eindhoven University of Technology²)
○Keisuke Tenda¹・Benice van Gerven²・Remco Arts²・Maarten Merckx²・Daniel Citterio¹
- Y2117 (15:00～16:00) 長尺カーボンナノチューブ電極を用いたドーパミンの検出 (芝浦工大¹・日本資材²)
○村上 知史¹・六車 仁志¹・井上 均²・大澤 達也²
- Y2118 (15:00～16:00) 印刷技術を用いた低コスト透明基板マイクロ流体分析デバイス (慶大院理工)
○藤崎 省吾・柴田 寛之・山田 健太郎・相田 佳毅・鈴木 孝治・チッテリオ ダニエル
- Y2119 (15:00～16:00) 光ファイバーを利用した吸光および蛍光分光計測器の開発とその応用 (大分大工)
○黒木 開人・井上 高教・甲斐 徳久
- Y2120 (15:00～16:00) 色変化を利用した光ファイバー型匂いセンサーの開発と応用 (大分大工)
○甲斐 太郎・井上 高教・甲斐 徳久
- Y2121 (15:00～16:00) 抗酸化剤の抽出及び比色分析のためのシリカナノ粒子の開発 (慶大院理工)
○藤原 碧・土田 泰佑・長田 康太・鈴木 孝治・Citterio, Daniel
- Y2122 (15:00～16:00) センサ応答リセット用フォトクロミックポリマーの合成及び評価 (富山大院理工)
○小竹 俊哉・Dao Thi Hong Nhung・菅野 憲・遠田 浩司
- Y2123 (15:00～16:00) クリック反応により共役系拡張と機能性付加が可能な糖センサー用aza-BODIPY色素の開発 (富山大院理工)
○鷹羽 佑太・菅野 憲・遠田 浩司
- Y2124 (15:00～16:00) リッター反応を利用したニトリル化合物の蛍光検出 (豊橋技科大電気電子情報工¹・豊橋技科大教育研究基盤セ²・豊橋技科大電気電子情報工³)
○高山 健太¹・加藤 亮²・服部 敏明³
- Y2125 (15:00～16:00) 動力不要の濃縮を行える亜鉛イオン定量のための紙基板デバイス (慶大院理工)
○工藤 弘子・山田 健太郎・渡邊 大輝・鈴木 孝治・チッテリオ ダニエル
- Y2126 (15:00～16:00) 好熱性菌由来フラビンアデニンジスクレオチド依存グルコースデヒドロゲナーゼを用いるバイオセンサと燃料電池 (芝浦工大¹・産総研²・東工科大³)
○折原 耕平¹・六車 仁志¹・岩佐 尚徳²・平塚 淳典²・横山 憲二^{2,3}・鶴沢 浩隆²
- Y2127 (15:00～16:00) 高速・高感度センシングを指向した疎水性色素液体の開発と応用 (阪府大院工)
○水田 巽・高居 周生・末吉 健志・遠藤 達郎・久本 秀明
- Y2128 (15:00～16:00) アザクラウン連結ビビリジニウム誘導体の合成と色変化によるイオンセンシング (山梨大院総研)
○梅村 秀一・桑原 哲夫
- Y2129 (15:00～16:00) 新規メカニズムに基づく次亜塩素酸応答性薄膜の色調変化挙動 (北見工大¹・北見工大²)
○三谷 裕¹・押田 千里¹・中橋 一誌²・兼清 泰正^{1,2}
- Y2130 (15:00～16:00) バイオLSIを用いたゼブラフィッシュ胚の動きと、酸素消費量に基づく薬効評価法の開発 (兵庫県大院物質理¹・日本航空電子工業²・東北大院環境³・東北大院工⁴)
○寺尾 和輝¹・國方 亮太²・須田 篤史²・井上 (安田) 久美³・伊野 浩介⁴・末永 智一³・安川 智之¹
- Y2131 (15:00～16:00) 有機構造体をマトリクスに使用したMALDI-MS測定 (首都大院理工¹・東洋大院理工²)
○櫻井 萌¹・藤野 竜也²
- Y2132 (15:00～16:00) エレクトロスプレーイオン化イオンモビリティータンデム型質量分析法によるポリグリコールの分析 (名工大院工)
○尾関 優香・北川 慎也・大谷 肇
- Y2133 (15:00～16:00) 酸化鉄ナノ粒子を用いたMALDI法における清涼飲料水中発がん性物質の検出 (首都大院理工¹・東洋大院理工²・首都大理工³・東洋大院理工⁴)
○藤井 洋佑¹・梅澤 太一²・秋元 隆文³・藤野 竜也⁴
- Y2134 (15:00～16:00) Py-Tag 標識によるアミノ酸、タンパク質群の網羅的検出への応用 (福井県大¹・太陽日酸²・福井大医³)
○今瀬 優花¹・田中 幸枝³・池田 明夏里²・片野 肇¹・平修¹
- Y2135 (15:00～16:00) ガルバニ置換反応による規則的Auナノ構造を用いた表面支援レーザー脱離イオン化 (SALDI)-MS (名工大院工)
○林 孝明・飯田 良規・大谷 肇
- Y2136 (15:00～16:00) ニトロソアミン生成反応を利用するESI-MSによる亜硝酸イオンの定量法の開発 (群馬大院理工)
○林 慎・佐藤 記一・角田 欣一
- Y2137 (15:00～16:00) 新型質量分析器の質量分解能に関する研究 (東理大院理工)
○乗川 時王・岸本 直也・野島 雅
- Y2138 (15:00～16:00) エレクトロスプレーイオン化質量分析法のための前処理用電気透析装置の開発およびケイ酸定量への応用 (群馬大院理工¹・神戸大海事²)
○石原 れい子¹・佐藤 記一¹・角田 欣一¹・堀田 弘樹²
- Y2139 (15:00～16:00) オンライン-フルオラス誘導体化によるクルクミンの高感度LC-MS/MS分析 (福岡大薬)
○清川 恵奈・竹下 阿紗子・巴山 忠・古賀 鈴依子・吉田 秀幸・山口 政俊・能田 均
- Y2140 (15:00～16:00) LC-ECD-ESI-MSによる高感度代謝物分析法の開発 (静岡県大薬)
○小林 勇太・水野 初・高山 卓大・豊岡 利正・轟木 堅一郎
- Y2141 (15:00～16:00) ポリジメチルシロキサンを用いたオンチップ液体クロマトグラフィーの開発 (東大院薬¹・早大院基幹理工²・早大ナノ創研³)
○原田 一郎¹・福田 千尋¹・中西 完貴²・磯川 宗生¹・尹 棟鉉³・関口 哲志³・船津 高志¹・庄子 習一^{2,3}・角田 誠¹
- Y2142 (15:00～16:00) マイクロ流体デバイスとヒト全血を用いたナノ粒子の血管透過性評価 (東洋大)
○守谷 侑美・小田 中美希・佐々木 直樹
- Y2143 (15:00～16:00) シリカ薄膜上での塩化物イオンの検出における毛管流の利用 (弘前大院理工)
○九翟 恭平・北川 文彦・糠塚 いそし
- Y2144 (15:00～16:00) マイクロ血管モデル開発をめざした中空状ハイドロゲル中での細胞培養 (群馬大院理工)
○秦 真理奈・角田 欣一・佐藤 記一

- Y2145 (15:00～16:00) μ TASのための温度応答性マイクロバルブの開発(首都大院都市環境)○田中 佑実・曾 湖烈・加藤俊吾・中嶋 秀・内山 一美
- Y2146 (15:00～16:00) 糸球体および尿細管の機能を集積化したマイクロ腎モデルの構築(群馬大院理工¹・第一三共²)○高橋 杏奈¹・作田 悠¹・竹原 一成²・今岡 知己²・角田 欣一¹・佐藤 記一¹
- Y2147 (15:00～16:00) 気節-非相分離フィードバック制御フローレシヨメトリーの各種酸塩基滴定への応用(徳島大薬¹・徳島大院医歯薬(薬)²)○平坂 知子¹・岡 佐和子¹・竹内政樹¹²・田中 秀治¹²
- Y2148 (15:00～16:00) イミダクロプリド光分解物の同定による蛍光FIA法の最適化(中部大応生¹・食品分析開発セSUNATEC²)○八木 啓介¹・堤内 要¹・菊川 浩史²・山本 敦¹
- Y2149 (15:00～16:00) 高濃度試料の分析を目的とする三角波制御フロー分析法の開発(徳島大薬¹・徳島大院医歯薬²)○富山 絵里奈¹・和田 莉緒菜¹・竹内 政樹¹²・田中 秀治¹²
- Y2150 (15:00～16:00) 海水や大気中のジメチル硫黄化合物のシーケンシャル分析(熊本大院自然¹・熊本大院先端²・三菱ケミアナ³)○岡根 大記¹・Edwin Koveke¹・長畑 孝典³・林 則夫³・大平 慎一²・戸田 敬²
- Y2151 (15:00～16:00) Polymer Inclusion Membrane コーティングカラム導入フローインジェクション分析による亜鉛(II)の分離定量:実試料分析への応用(富山大院理工(工)¹・The University of Melbourne²)○樋田 築¹・南 千香子¹・大嶋 卓巳¹・源明 誠¹・加賀谷 重浩¹・Robert W. Cattrall²・Spas D. Kolev²
- Y2152 (15:00～16:00) キャピラリー過渡的等速電気泳動法を用いる金属蛍光プローブの汚染金属イオンスウィーピング精製技術の開発(埼玉大院理工)○黒澤 結香・渋川 雅美・齋藤 伸吾
- Y2153 (15:00～16:00) ミセル動電クロマトグラフィーの容量比からみたグラフェンのミセル分配(徳島大院先端技術科学¹・徳島大院理工²)○別役 優太¹・水口 仁志²・高柳 俊夫²
- Y2154 (15:00～16:00) 陰イオン交換基修飾キャピラリー電気泳動法を用いた唾液試料中のイオン分析(群馬大院理工¹・群馬大院医²・高知大教育³・群馬大教育⁴)○坂本 翔¹・村上 正己²・石川原 楓光²・森 勝伸³・板橋 英之¹・関 庸一¹・霞田 明弘²・正保 佳史²・牛木 和美²・ララサティ マルタ²・新井 淑弘⁴・金子 伊樹⁴
- Y2155 (15:00～16:00) 3-ニトロフェニルボロン酸と三価アルコールとの錯形成平衡解析と生成化学種のキャラクタリゼーション(甲南大院自然¹・早大先進理工²)○村岡 沙紀¹・岸 和樹¹・石原 浩二²・岩月 聡史¹
- Y2156 (15:00～16:00) アントラセンにより架橋されたbis-3-ピリジニウムボロン酸とD-グルコースの反応に関する測度論的研究(早大院先進理工¹・千葉工大工²)○松尾 圭悟¹・菅谷 知明²・石原 浩二¹
- Y2157 (15:00～16:00) 4-ピリジルボロン酸誘導体とD-ソルビトールの反応機構の解明および緩衝剤の及ぼす影響の検討(早大院先進理工¹・千葉工大工²・甲南大院工³)○楠山 大輔¹・菅谷 知明²・岩月 聡史³・石原 浩二¹
- Y2158 (15:00～16:00) ボロン酸とボロン酸イオンの反応機構の相違の検討(早大院先進理工¹・千葉工大工²)○下島 健¹・鈴木 陽太¹・菅谷 知明²・石原 浩二¹
- Y2159 (15:00～16:00) 光分解法を用いた河川水中の溶存態リン化学種のスペシエーション(京大院理¹・阪教大²)○田中裕里子¹²・久保埜 公二²・横井 邦彦²
- Y2160 (15:00～16:00) NaClと水の共晶の融解過程に注目した環境水中の微量元素濃縮法(神奈川大理)○荒井 健・西本 右子
- Y2161 (15:00～16:00) 電解水の殺菌効果に対する電解条件の影響(神奈川大理¹・東京医療保健大²)○水島 拓樹¹・岩沢 篤郎²・松村 有里子²・西本 右子¹
- Y2162 (15:00～16:00) 波長分散小型蛍光X線分析装置を用いた、日本産、中国産、台湾産茶葉の簡易な産地判別(阪教大)○石田 晴香・横井 美穂・白澤 由理・辻阪 誠・中西 宏暉・小谷 理沙・久保埜 公二・横井 邦彦
- Y2163 (15:00～16:00) 野菜中のガラクトース光学異性体分析(東海大理¹・中部大応生²・近畿大薬³・富山大理工⁴・ジーエルサイエンス⁵)○岡田 眞希子¹・山本 敦²・多賀 淳³・會澤 宣一⁴・寺島 弘之⁵・小玉 修嗣¹
- Y2164 (15:00～16:00) コーヒー生豆の産地判別分析～苦味、酸味成分およびアミン類による検討～(東海大理¹・富山県砺波厚生セ²・石光商事³・ジーエルサイエンス⁴・中部大応生⁵)○土肥 巧¹・長瀬 博文²・石脇 智広³・寺島 弘之⁴・山本 敦⁵・小玉 修嗣¹
- Y2165 (15:00～16:00) ブロココリー中グルコラファニンのジアステレオマー分離条件の検討(東海大理¹・中部大応生²・富山大院理工³・近畿大薬⁴)○田中 壮平¹・岡田 眞希子¹・山本 敦²・會澤 宣一³・多賀 淳⁴・小玉 修嗣¹
- Y2166 (15:00～16:00) TLC, HPLC<LC-MS/MSを用いたB型トリコテセン汚染米培地の定量(東洋大院理工¹・東洋大院工²・名大院生命農³)○新海 航輝¹・田中 彰²・前田 一行³・木村 真³・安藤 直子¹²
- Y2167 (15:00～16:00) グリセリンおよびエチレングリコールを用いるチタニアの熱触媒作用により生成する物質の解析(山梨大院医工農)○河野 賢一・谷 和江
- Y2168 (15:00～16:00) 水素の吸光度定量(工学大院工)釜谷 美則・小澤 尚紀
- Y2169 (15:00～16:00) 可搬型分析装置を用いたアムステルダム国立美術館所蔵の近世西洋絵画の顔料分析(東理大理¹・アントワープ大学²・アムステルダム国立美術館³)○平山 愛里¹・赤城 沙紀¹・和泉 亜理沙¹・阿部 善也¹・中井 泉¹・Frederik Van meert²・Annelies Van Loon³・Petria Noble³・Koen Janssens²
- Y2170 (15:00～16:00) 水/2-プロパノール/フタル酸ジメチル系均一液抽出法を用いる六価クロムの高感度比色分析法の開発(富山高専¹・茨城県工技セ²)○横田 優貴¹・間中 淳¹・加藤 健²
- Y2171 (15:00～16:00) トルコ・ビュクリュカレ遺跡出土プラスターの化学的研究(東理大理¹・アナトリア考古学研²)○岩本 翔汰¹・阿部 善也¹・中井 泉¹・松村 公仁²
- Y2172 (15:00～16:00) 法科学応用を目的とした道路堆積物の異同識別の試み(東理大理)○加古川 伊武紀・阿部 善也・中井 泉

第3日 (9月11日)

- Y3001 (10:00～11:00) バナジウム錯体をイオノフォアに用いたヨウ化物センサー (阪工大工) 森内 隆代・○東角 彰久・藤森 啓一
- Y3002 (10:00～11:00) ピナコール保護基を有する含ホウ素CTG誘導体のAlizarinに対する分子認識能評価 (阪工大工) 森内 隆代・○井上 翼・藤森 啓一
- Y3003 (10:00～11:00) アデノシンを用いた新規ホウ酸吸着マイクロカプセルの調製 (都城高専) ○田畑 浩平・安藤 真優・中村 華奈・清山 史朗・藤森 崇夫
- Y3004 (10:00～11:00) 細菌検出を目的とする蛍光シリカナノ粒子の開発 (上智大理工) ○喜多村 文・笠井 祐那・土戸 優志・橋本 剛・早下 隆士
- Y3005 (10:00～11:00) 蛍光団を組み込んだ刺激応答性高分子を用いる陰イオン性界面活性剤の定量 (宇都宮大) ○滝田 聖隼・上原 伸夫
- Y3006 (10:00～11:00) フェニルボロン酸を導入したCTV誘導体の1,2-ジヒドロキシベンゼンに対する認識能評価 (阪工大工) 森内 隆代・○久田 健太郎・藤森 啓一
- Y3007 (10:00～11:00) *Shewanella oneidensis*による金属ナノ粒子生成過程の追跡 (阪府大) ○石木 健吾・椎木 弘・長岡 勉
- Y3008 (10:00～11:00) 気相中に浮遊させた単一過冷却水滴の粘度測定 (広島大院理) ○川辺 貴之・石坂 昌司
- Y3009 (10:00～11:00) 共鳴ラマン散乱測定を用いたシリカメソ細孔内ブルー銅タンパク質の構造解析 (茨城大院量子線) ○枝並 友梨絵・洪屋 祐太・山口 央・玉置 彩緒理・山口 峻英・高妻 孝光
- Y3010 (10:00～11:00) 超音波定在波を用いた単一粒子挙動に基づく微量分析 (東工大理学院) ○宮川 晃尚・原田 誠・岡田 哲男
- Y3011 (10:00～11:00) メソポーラスシリカ細孔内DNA二重鎖の構造安定性におよぼす細孔サイズの影響 (茨城大院量子線¹・茨城大理²) ○新井 翔太¹・増田 翼²・小林 沙弥華²・鈴木 崇太郎²・洪屋 祐太¹・山口 央¹
- Y3012 (10:00～11:00) 水隔壁チャンネルを用いた粒子のサイズ分離 (東工大理学院) ○藤野 紗央里・稲川 有徳・原田 誠・岡田 哲男
- Y3013 (10:00～11:00) 液液界面における水溶性キノリノール錯体の吸着反応挙動の分光電気化学解析 (金沢大院自然¹・金沢大物質化学²) ○山本 翔¹・竹山 真梨恵²・永谷 広久¹・井村 久則¹
- Y3014 (10:00～11:00) 高速液体クロマトグラフィーを駆使した合金クラスターの化学組成制御技術の開発 (東理大院総合化学¹・東理大院理²) ○小山 祐樹¹・渡邊 誠一朗²・新堀 佳紀¹・根岸 雄一²
- Y3015 (10:00～11:00) 環境水中の単体硫黄の比色定量法の開発 (島根大院総理工) ○岩間 充希・菅原 庄吾・江川 美千子・清家 泰
- Y3016 (10:00～11:00) 鉄(Ⅲ)の新規比色定量法の開発 (島根大院総理工) ○三輪 圭哉・菅原 庄吾・江川 美千子・清家 泰
- Y3017 (10:00～11:00) 富士山頂の湿性粒子や雲水に存在するカルボニル化合物 (熊本大院自然¹・熊本大院先端²・徳島大院医歯薬³・早大院創造理工⁴) ○光石 夏澄¹・岩崎 真和¹・大平 慎一²・竹内 政樹³・大河内 博⁴・戸田 敬²
- Y3018 (10:00～11:00) レーザー吸収分光法による水試料の水素及び酸素同位体比測定と同位体質量分析法との比較 (北見工大) ○LEE, CHUI SHIANG・加地 泰健・坂上 寛敏・南 尚嗣・小西 正朗・八久保 晶弘・山下 聡・庄子 仁
- Y3019 (10:00～11:00) 森林大気及び生態系生物中ステロールの化合物レベル安定炭素同位体比分析:分離・精製法の確立 (東葉大院生命) ○竹内 理子・青木 元秀・内田 達也・熊田 英峰・梅村 知也
- Y3020 (10:00～11:00) 大気中における塩素酸・過塩素酸の実態とその起源を探る (熊本大院自然¹・熊本大院先端²・熊本大理³) ○井上 広太郎¹・長井 淳¹・平 美咲³・井本 ゆりか¹・大平 慎一²・戸田 敬²
- Y3021 (10:00～11:00) 過酸化水素による次亜塩素酸、次亜臭素酸の濃度測定及びモル吸光係数の決定 (琉球大院理工) ○上原 裕幸・新垣 雄光
- Y3022 (10:00～11:00) 群馬県赤城大沼の周辺土壌、底質及び水生生物中の放射性セシウムの化学形態別分析及び動態 (群馬大院理工¹・群馬県水試²・国立環境研³・武蔵大人文⁴・東京都大工⁵) ○権田 貴裕¹・森 勝伸¹・角田 欣一¹・鈴木 究真²・湯浅 由美²・新井 肇²・渡辺 峻²・久下 敏宏²・野原 精一³・葉袋 佳孝⁴・岡田 往子⁵・板橋 英之¹
- Y3023 (10:00～11:00) 環境水中に混在する大腸菌の薬剤感受性による簡便・迅速な存在割合評価法の開発;代謝活性によるpH変化を用いた薬剤感受性評価法 (北見工大) ○近藤 恵文・田中 隆二・宇都 正幸
- Y3024 (10:00～11:00) 微量元素組成と同位体比を用いた羽毛の産地判別法開発 (東理大理¹・環境科学技研²・科学技術振興会CIL³) ○寺田 健児¹・阿部 善也¹・中井 泉¹・高久 雄一²・亀田 光昭³・小林 新³
- Y3025 (10:00～11:00) 検量線が不要な放射性Srのカスケード型ICP-MS分析と福島第一原発の原子炉建屋滞留水への応用 (福島大理工¹・パーキンエルマー²・東大農³・JAMSTEC⁴・福島大IER⁵) ○小田島 瑞樹¹・古川 真^{1,2,3}・鈴木 勝彦⁴・高貝 慶隆^{1,5}
- Y3026 (10:00～11:00) 沖縄県比謝川水中の界面活性剤様有機物質に関する研究 (琉球大院理工¹・琉球大理²) ○亀川 碧¹・上原 裕幸¹・笠葉 知葉¹・新垣 結奈²・五十嵐 洋一²・金城 信之²・新垣 遼²・大城 浩暢²・新垣 雄光²
- Y3027 (10:00～11:00) アルミニウムの濃縮/定量法の開発と富山湾沿岸海水および河川水中の懸濁物質の定量への応用 (富山大院理工(理)¹・富山大環安セ²・富山高専³) ○公地 雄大¹・長田 幸子¹・松本 裕一郎¹・岡崎 琢也¹・佐澤 和人¹・倉光 英樹¹・田口 茂¹・宮武 滝太²・千葉 元³・波多 宣子¹
- Y3028 (10:00～11:00) 特定酵素蛍光基質を用いた簡易大腸菌数測定技術の開発 (北大院工) ○菊地 凱・石井 聡・高橋 正宏・岡部 聡・佐藤 久
- Y3029 (10:00～11:00) 蛍光分光光度法および蛍光検出キャピラリー電気泳動法による腐植物質溶液中のピレンの溶存状態の検討 (福井大院工) ○渡辺 泰佑・中村 智洋・高橋 透

- Y3030 (10:00 ~ 11:00) 汚濁源推定のための抗生物質を用いた環境水中ふん便性大腸菌の分類と評価 (北見工大) ○田中 隆二・小原 悠一・宇都 正幸
- Y3031 (10:00 ~ 11:00) DNA アプタマーを用いた簡易ノロウイルス検出法の開発 (北大院工) ○吉原 光・岡部 聡・高橋 正宏・佐藤 久
- Y3032 (10:00 ~ 11:00) 重液分離による放射性鉍物の精製と放射能測定 (明大院理工¹・明大理工²) ○笠利 実希¹・福田 大輔¹・塩原 良建¹・萩原 健太²・小池 裕也²
- Y3033 (10:00 ~ 11:00) 蛍光色素を用いた黄色ブドウ球菌簡易測定法の開発 (北大院工) ○山口 拓郎・高橋 正宏・岡部 聡・佐藤 久
- Y3034 (10:00 ~ 11:00) イワムシ糞由来微生物による多環芳香族炭化水素の分解挙動 (東邦大理) ○土山 義人
- Y3035 (10:00 ~ 11:00) DNA アプタマーを用いた簡易ヒ素(III) 分析手法の開発 (北大院工) ○松永 光司・岡部 聡・高橋 正宏・佐藤 久
- Y3036 (10:00 ~ 11:00) オルガノクレーを用いる水中フェニトロチオンの除去 (北見工大工) ○大岩 真子・針ヶ谷 風花・齋藤 徹
- Y3037 (10:00 ~ 11:00) PVA・シリカハイブリッド材料を用いた水溶液中の重金属除去法の検討 (新大院自然研¹・新大工²) ○松下 周平¹・狩野 直樹²
- Y3038 (10:00 ~ 11:00) アルギン酸-ゼオライトハイブリッド材料による水溶液中のCr (Ⅲ) 吸着法の検討 (新潟大院自然¹・新潟大工²) ○吉田 涼¹・関口 俊介¹・Pang, Meiling¹・Deng, Yanling¹・狩野 直樹²
- Y3039 (10:00 ~ 11:00) LC-Q-TOF-MSを用いた環境水中キレート剤の一斉分析法の開発 (金沢大院自然¹・金沢大理工²) ○吹上 祥平¹・竹村 匡史¹・Sohag Miah¹・齋藤 誠¹・牧 輝弥²・長谷川 浩²
- Y3040 (10:00 ~ 11:00) SMSIによる金クラスター助触媒の酸化クロムコーティングとその状態解析および水分解光触媒活性との相関 (東理大院総合化学¹・東理大理²) ○熊澤 里菜¹・藏重 亘²・根岸 雄一²
- Y3041 (10:00 ~ 11:00) 神経剤分解物の誘導体化LC-MS/MS法による分析 (科警研) ○大塚 麻衣・柘 浩一郎・大森 毅・岡田 侑己・山口 晃巨・瀬戸 康雄
- Y3042 (10:00 ~ 11:00) 上皮間葉転換阻害剤のスクリーニングに向けた細胞集団性の定量化法 (日大院生産工¹・千葉大院工²・物材機構MANA³) ○深山 達也¹・野々村 真規子¹・菅原 路子²・中西 淳³
- Y3043 (10:00 ~ 11:00) 細胞集団移動の基質依存性の分析に用いる表面化学・力学特性が制御された光応答基板の開発 (東洋大院理工¹・物材機構²・神奈川大理³) ○岡田 佳^{1,2}・山本 翔太²・山口 和夫³・佐々木 直樹¹・中西 淳²
- Y3044 (10:00 ~ 11:00) 蛍光性核酸アプタマーの構造変化を利用する内在性RNAセンシング (東理大理¹・東大院新領域²・東大院総文³・JST さきがけ⁴) ○小林 瑞季¹・古旗 祐一²・丸山 亮³・由井 宏治¹・道上 達男³・吉本 敬太郎^{3,4}
- Y3045 (10:00 ~ 11:00) イメージング質量分析によるユビキノンの脳の局在解析 (福井県大¹・カネカテクノリサーチ²) ○龍田 幸奈¹・笠井 一暁²・片野 肇¹・平 修¹
- Y3046 (10:00 ~ 11:00) ホルモン輸送タンパク質トランスサイレチンに対する結合能を指標とした化合物の内分泌攪乱性評価法の開発 (愛媛大院理工¹・愛媛大沿岸環境化学セ²) ○福永 隼大¹・那須 恭将¹・国末 達也²・座古 保¹
- Y3047 (10:00 ~ 11:00) 金ナノ粒子会合の顕微光散乱分光検出を用いたトロンビンの高感度分析 (愛媛大院理工) ○二艘木 優充・矢野 湧暉・座古 保・朝日 剛
- Y3048 (10:00 ~ 11:00) レーザアブレーション誘導結合プラズマ質量分析装置を用いた生体試料のPtイメージング分析 (JFEテクノリサーチ¹・新潟大院医歯²) ○Kotaro Hori¹・Akiko Sakashita¹・Kazutoshi Hanada¹・Iwao Ida¹・Kyoko Fujimoto¹・Sawako Goto²・Akihiko Saito²
- Y3049 (10:00 ~ 11:00) ホタルルシフェリン7位修飾アナログに関する構造活性相関研究 (慶大院理工¹・産総研²) ○村田 理¹・池田 裕真¹・丹羽 一樹²・西山 繁¹・チツテリオ ダニエル¹・鈴木 孝治¹
- Y3050 (10:00 ~ 11:00) 糖複合体の選択的捕集デバイスの開発に向けたフェニルボロン酸担体の作製と評価 (東薬大院生命) ○別所 夏歩・松本 七虹・熊田 英峰・内田 達也・青木 元秀・梅村 知也
- Y3051 (10:00 ~ 11:00) 金属触媒固定化モノリス型マイクロリアクターを用いた核酸の切断特性の評価 (東薬大院生命) ○高江 祥・和田 堯之・青木 元秀・熊田 英峰・内田 達也・梅村 知也
- Y3052 (10:00 ~ 11:00) 融解温度測定と円偏光二色性スペクトル測定を用いるパラレル型グアニン四重鎖のGカルテット形成部位の考察 (東理大理¹・東大院総文²・JST さきがけ³) ○牧野 くるみ¹・丸山 亮²・吉富 徹²・由井 宏治¹・吉本 敬太郎^{2,3}
- Y3053 (10:00 ~ 11:00) 金属ナノ薄膜形成のリアルタイム観察法を利用した表面プラズモン共鳴センサーの作製 (東薬大薬¹・首都大院都市環境²・メビウスAT³) ○森田 健司¹・中村 邦彦¹・中島 美優²・高橋 浩司¹・森岡 和夫¹・辺見 彰秀³・中嶋 秀²・内山 一美²・柳田 顕郎¹・東海林 敦¹
- Y3054 (10:00 ~ 11:00) カチオン性オリゴペプチド導入による蛍光性ペプチド核酸プローブのsiRNA結合能改良 (東北大院理) ○中田 彩希・金子 充雅・佐藤 貴哉・佐藤 雄介・西澤 精一
- Y3055 (10:00 ~ 11:00) 温度応答性高分子修飾ガラス基板を用いた細胞分離システムの検討 (慶大薬) ○内川 奈保・長瀬 健一・金澤 秀子
- Y3056 (10:00 ~ 11:00) TAR RNA/Tat相互作用を標的とした阻害剤スクリーニング法の開発: 蛍光ラベル化ペプチドを用いた阻害能評価 (東北大院理) ○坂本 凌平・佐藤 雄介・珍田 裕佳・寺前 紀夫・西澤 精一
- Y3057 (10:00 ~ 11:00) パニリン結合ドメインを組み込んだマイクロペルオキシダーゼ11の合成とバイオ分析への応用 (九大院工) ○姫野 俊基・中野 幸二・石松 亮一・今任 稔彦
- Y3058 (10:00 ~ 11:00) 酸化還元タグ修飾デオキシリボヌクレオシドポリリン酸の合成とその電気化学ゲノム分析への応用 (九大院工) ○勝尾 祐太・田邊 潤壺・平田 龍太郎・中野 幸二・石松 亮一・今任 稔彦

- Y3059 (10:00 ~ 11:00) 三重鎖形成とオーバーハング構造認識を併用したsiRNA結合性プローブの開発(東北大院理) ○田邊 貴昭・佐藤 貴哉・佐藤 雄介・西澤 精一
- Y3060 (10:00 ~ 11:00) 脱塩基部位含有DNA二重鎖/蛍光性リガンド相互作用を用いたラベルフリーエクソソーム検出法の開発(東北大院理) ○中込 怜奈・佐藤 雄介・西澤 精一
- Y3061 (10:00 ~ 11:00) DNA修飾ポリスチレン微粒子の交差周波数の計測(兵庫県大院物質理) ○岡崎 仁・安川 智之
- Y3062 (10:00 ~ 11:00) Single-cell bioluminescent imaging analysis of circadian response to UV irradiation for elucidation of the synchronization mechanism. (The Univ. Tokyo. Sci.¹・Toho Univ. Med.²) ○Genki Kawamura¹・Teruya Tamaru²・Takeaki Ozawa¹
- Y3063 (10:00 ~ 11:00) 新規ヒアルロン酸ナノファイバーの創製と細胞培養足場としての機能性評価(東薬大院生命) ○川西 隆仁・青木 元秀・熊田 英峰・梅村 知也・内田 達也
- Y3064 (10:00 ~ 11:00) エクソソーム解析を指向した蛍光性ペプチドプローブの開発:両親媒性 α ヘリックス構造の精密制御(東北大院理) ○高橋 健太・豊岡 壮太・佐藤 雄介・西澤 精一
- Y3065 (10:00 ~ 11:00) LC-MSによるヒト表皮角層セラミドの一斉分析と多変量解析(東薬大院生命) ○内山 康暉・青木 元秀・熊田 英峰・梅村 知也・内田 達也
- Y3066 (10:00 ~ 11:00) がん細胞選択的な新規蛍光プローブの開発(慶大薬¹・慶大理工²) ○大島 麻理子¹・松浦 みなみ¹・吉岡 仁美¹・三木 厚¹・蛭田 勇貴²・金澤 秀子¹
- Y3067 (10:00 ~ 11:00) 導電性プラットフォームを用いた微生物の呼吸活性評価(阪府大院工) ○富山 智大・斎藤 真希・石木 健吾・椎木 弘・長岡 勉
- Y3068 (10:00 ~ 11:00) 紫外線照射された放射線耐性細菌中の核酸塩基の損傷分析(東薬大院生命¹・JAXA/ISAS²) ○谷口 紀恵¹・青木 元秀¹・矢田部 純¹・河口 優子¹・横堀 伸一¹・橋本 博文²・山岸 明彦¹・梅村 知也¹
- Y3069 (10:00 ~ 11:00) イメージング質量分析によるナツメ(Ziziphus jujuba)含有トリテルペノイドの体内動態解析(福井県大¹・神戸学大²) ○中田 しおり¹・川畑 球一²・龍田 幸奈¹・片野 肇¹・平 修¹
- Y3070 (10:00 ~ 11:00) 固相抽出型SVOC捕集デバイスを用いた大気中テルペン類の分析(山梨大院工¹・信和化工²・堀場エステック³・分析産業人ネット⁴) ○藤川 尋斗¹・植田 郁生¹・藤村 耕治²・芳村 智孝³・鳴上 翔士³・望月 賢³・佐々木 智啓³・前田 恒昭⁴
- P2004 (13:00 ~ 14:00) LA-ICP-MSによる樹脂試料中の有害元素の分析(都立産技研セ) ○湯川 泰之・林 英男
- P2005 (13:00 ~ 14:00) マイクロ波窒素プラズマ発光分光分析におけるナトリウム及びカリウムの感度特性評価(アジレント) ○橋本文寿・大山 拓也・平野 岳史・吉田 由紀
- P2006 (13:00 ~ 14:00) キレート樹脂を用いたオンライン濃縮フレーム原子吸光度法(日立ハイテクサイエンス) ○坂元 秀之・添田 直希・山本 和子・白崎 俊浩
- P2007 (13:00 ~ 14:00) シングルパーティクルICP-MSによる金属・金属酸化物ナノ粒子分析の検討(東レリサーチセ) ○土田 英央・佐藤 信之・坂口 晃一
- P2008 (13:00 ~ 14:00) 黒鉛炉原子吸光法を用いたホウ素の定量における鉄修飾剤の働き(徳島大院社産理工¹・徳島大院総合²・日立ハイテク³・GLサイエンス⁴) ○山本 祐平¹・田上 梓²・白崎 俊浩³・米谷 明⁴・山本 孝¹・今井 昭二¹
- P2009 (13:00 ~ 14:00) 環境試料の高精度ホウ素同位体比測定に関する分析条件の最適化(関学大理工) ○谷水 雅治
- P2010 (13:00 ~ 14:00) グロー放電質量分析における相対感度係数にはどこまで普遍性があるか?(アメテック) ○高橋 隆子
- P2011 (13:00 ~ 14:00) 近赤外分光法による懸濁液成分の定量分析と検量モデルの検討(日立研究開発グ¹・関学大理工²) ○神林 琢也¹・野島 彰紘¹・谷口 伸一¹・石垣 美歌²・高場 京子²・尾崎 幸洋²
- P2012 (13:00 ~ 14:00) 懸濁液分析に向けた超音波音響放射力を用いた分光技術の開発(日立研究開発グ) ○野口 利光・神林 琢也・野島 彰紘・谷口 伸一
- P2013 (13:00 ~ 14:00) Representative layer theoryを用いた拡散反射分光スペクトルの解析(日立研究開発グ) ○野島 彰紘・神林 琢也・谷口 伸一
- P2014 (13:00 ~ 14:00) 楕円率計測を利用した新規円二色性測定法の開発(金沢大院自然¹・金沢大物質化学²) ○西山 嘉男¹・石川 翔一²・永谷 広久¹・井村 久則¹
- P2015 (13:00 ~ 14:00) 残留塩素共存下における亜硝酸態窒素の吸光度定量法の開発(島根大院総理) ○江川 美千子・菅原 庄吾・清家 泰
- P2016 (13:00 ~ 14:00) 教育現場での活用を目指した、レーザーを光源とする簡易な光路長可変型比色計の開発と地下水中铁イオンの定量(上越教育大) ○下村 博志・柳下 岬
- P2017 (13:00 ~ 14:00) 多結晶ヨウ化カリウムの電子放出特性の大気中観察(理研計器) ○山下 大輔・石崎 温史
- P2018 (13:00 ~ 14:00) 蛍光X線分析法によるMg合金の分析(リガク¹・明大理工²) ○大淵 敦司^{1,2}・森川 敦史¹・松田 渉¹・森山 孝男¹・中村 利廣^{1,2}
- P2019 (13:00 ~ 14:00) 奈良絵本で用いられている無機顔料の新しいX線分析(龍谷大理工) 高橋 瑞紀・村林 侑・○藤原 学
- P2020 (13:00 ~ 14:00) 角度分解XPSを用いた熱酸化NiTi合金上におけるNi濃化層形成過程の解明(群馬大¹・北見工大²) ○坂本 広太^{1,2}・林 史夫¹・山根 美佐雄²・大津 直史²
- P2021 (13:00 ~ 14:00) 種々の界面活性剤を用いて合成されたシリカエアロゲルの構造解析(積水化学¹・東理大理工²) ○日下 康成¹・濱前 奈未¹・浅尾 恭伸¹・篠原 貴道¹・楠葉 祐子¹・中川 聡美¹・大鷲 圭吾¹・遠藤 健司²・安孫子 大祐²・酒井 秀樹²

第2日(9月10日)

- P2001 (13:00 ~ 14:00) 漢方処方エキスに含まれる銅について実態調査(クラシエ製薬漢方研) ○張 紅燕・小此木 明・高橋 隆二
- P2002 (13:00 ~ 14:00) 加熱気化導入-ICP発光分析法による炭素系試料中の微量マンガンの直接定量(広島大理¹・広島大院理²) ○小林 裕太郎¹・岡本 泰明²・石坂 昌司²
- P2003 (13:00 ~ 14:00) ICP-MS/MSによる自動車用板ガラスの多元素分析と法科学的異同識別への応用(科警研¹・三重県警科捜研²) ○井川 貴雄¹・鈴木 康弘¹・笠松 正昭¹・國分 大輔²・船附 淳志²

- P2022 (13:00 ~ 14:00) 電位差滴定による洗浄剤中のキレート剤の定量 (ニイタカ) ○伊藤 紗菜・森田 将基
- P2023 (13:00 ~ 14:00) 酵素反応を用いるヒスチジンの選択的計測のための反応条件検討 (広島市大院情報) ○釘宮 章光・岩東 航平・齋藤 徹・香田 次郎・中野 靖久・鷹野 優
- P2024 (13:00 ~ 14:00) アミン含有高分子ナノファイバーによるガス状有害化学物質の光検出 (豊橋技科大教育研究基盤セ¹・豊橋技科大電気電子情報工²) ○加藤 亮¹・石井 佑弥²
- P2025 (13:00 ~ 14:00) サマリウム鑄型樹脂を用いたイオン選択性液膜電極の開発 (山口大院創成科学¹・山口大理²) ○藤原 勇¹・久保 綾佳²・尾崎 将汰²・村上 良子¹
- P2026 (13:00 ~ 14:00) 熱刺激電流測定による高分子と水の相互作用の検討 (リガク) ○細井 宜伸・平山 泰生
- P2027 (13:00 ~ 14:00) 大気中微小粒子状物質PM2.5の炭素成分の計測について (静岡県大薬) ○佐藤 綾子
- P2028 (13:00 ~ 14:00) 昇温加熱式直接質量分析法による粘着テープに採取した微小異物の異同識別 (バイオクロマト) ○竹井 千香子・吉沢 賢一
- P2029 (13:00 ~ 14:00) LC/Q-TOFを用いたりん光発光錯体分析のワークフロー (アジレントテクノロジー¹・ミネルパライトラボ²) ○清水 尚登¹・松村 竹子²・三宅 隆敏²・澤田 浩和¹
- P2030 (13:00 ~ 14:00) Hydrogen Attachment/Abstraction Dissociation (HAD) タンデム質量分析法を用いた脂質異性体分析 (島津質量分析研) ○高橋 秀典・山内 祥聖・関谷 禎規・岩本 慎一・田中 耕一
- P2031 (13:00 ~ 14:00) Thermal desorption and pyrolysis-DART-MSによる乳剤性製剤成分のHigh-throughput分析 (資生堂GIC¹・バイオクロマト²・山梨大³) ○島田 治男¹・前野 克行¹・木下 一真²・竹井 千香子²・志田 保夫³
- P2032 (13:00 ~ 14:00) 金属薄膜を利用する表面支援レーザー脱離イオン化法による生体組織の質量分析イメージング (北陸先端大) ○大坂 一生・仲林 裕司・宮里 朗夫
- P2033 (13:00 ~ 14:00) インチューブSPME/LC-MS/MS法によるニトロソアミン類の高感度分析法の開発 (就実大薬) ○石崎 厚・片岡 洋行
- P2034 (13:00 ~ 14:00) ハウスダストを対象としたイソシアネート化合物の分析法の確立 (国立保健医療科学院) ○戸次 加奈江・内山 茂久・櫻田 尚樹
- P2035 (13:00 ~ 14:00) DIP/IA-TOFMSによる製品分析: ポリオールエステル合成油の分析 (神戸工試¹・産総研²) ○三島 有二¹・津越 敬寿²
- P2036 (13:00 ~ 14:00) DIP/MSにおける低沸点化合物測定のための試料セル作製方法とそのアプリケーション (神戸工試¹・産総研²) ○三島 有二¹・津越 敬寿²
- P2037 (13:00 ~ 14:00) Fiber SPME/GC-MS法による皮脂含有脂肪酸分解物の高感度解析 (就実大薬) ○齋藤 啓太・猪木 摩耶子・片岡 洋行
- P2038 (13:00 ~ 14:00) 大気浮遊粒子状物質に含まれる有機成分の分析法の開発と動態解析 (京工織大院工芸¹・京工織大環境科学セ²) ○布施 泰朗^{1,2}・初雪¹・柄谷 肇¹・山田 悦^{1,2}
- P2039 (13:00 ~ 14:00) 二次元電気泳動などを用いる琵琶湖水中溶存タンパク質の特性解析 (京工織大院工芸科学¹・京工織大環境セ²・滋賀県琵琶湖研³) ○比嘉 良太¹・水口 裕尊¹・藤井 颯¹・藤井 しおり¹・藤井 一輝¹・布施 泰朗^{1,2}・岡本 高弘³・早川 和秀³・柄谷 肇^{1,2}・山田 悦^{1,2}
- P2040 (13:00 ~ 14:00) リアルタイムPCRを用いる環境水中Fragilaria capucinaのモニタリング法と藻類由来有機物の特性に関する研究 (京工織大院工芸科学¹・京工織大環境セ²・滋賀県琵琶湖研³) ○藤井 しおり¹・水口 裕尊¹・藤井 颯¹・比嘉 良太¹・藤井 一輝¹・布施 泰朗^{1,2}・岡本 高弘³・早川 和秀³・柄谷 肇¹・山田 悦^{1,2}
- P2041 (13:00 ~ 14:00) 琵琶湖北湖水中溶存有機物質の水深別特性に及ぼす太陽光などの影響解析 (京工織大院工芸科学¹・京工織大環境セ²・滋賀県琵琶湖研³) ○藤井 一輝¹・水口 裕尊¹・藤井 颯¹・比嘉 良太¹・藤井 しおり¹・上田 智也¹・布施 泰朗^{1,2}・岡本 高弘³・早川 和秀³・山田 悦^{1,2}
- P2042 (13:00 ~ 14:00) 熱分解GC/MSによる琵琶湖北湖深水層におけるプランクトン及び沈降粒子の化学特性と動態解析 (京工織大院工芸科学¹・京工織大環境セ²・滋賀県琵琶湖研³) ○中屋 慎司¹・水口 裕尊¹・村山 耀平¹・初雪¹・布施 泰朗^{1,2}・岡本 高弘³・早川 和秀³・柄谷 肇¹・山田 悦^{1,2}
- P2043 (13:00 ~ 14:00) Py-GC/MSを用いた琵琶湖北湖深水層における溶存有機物質の化学特性解析 (京工織大院工芸科学¹・京工織大環境セ²・滋賀県琵琶湖研³) ○佐藤 翔太¹・村山 耀平¹・初雪¹・布施 泰朗^{1,2}・岡本 高弘³・早川 和秀³・柄谷 肇¹・山田 悦^{1,2}
- P2044 (13:00 ~ 14:00) 東シナ海および周辺海域底質の水銀濃度分布 (鹿児島大理¹・鹿児島大院理工²・国立環境研³・国立水俣病総合研究セ⁴・富山大理⁵) 内田 葵¹・児玉谷 仁²・武内 章記³・丸本 幸治⁴・堀川 恵司⁵・神崎 亮²・富安 卓滋²
- P2045 (13:00 ~ 14:00) 垂鉛めっき鋼板の冷却法による断面試料作製検討 (日本パーカラライジング) ○中島 圭一・田口 秀之
- P2046 (13:00 ~ 14:00) 昇温加熱式直接質量分析法を用いた潤滑油の劣化評価 (バイオクロマト) ○竹井 千香子・吉沢 賢一
- P2047 (13:00 ~ 14:00) 昇温加熱式直接質量分析法を用いたPBTの劣化評価 (バイオクロマト) ○吉沢 賢一・竹井 千香子
- P2048 (13:00 ~ 14:00) 炭素材料の分析法の検討 (2) CHN元素分析装置及び炭素硫黄分析装置でのガス分析 (神奈川産技総研) ○城田 はまな
- P2049 (13:00 ~ 14:00) 層構造遮熱フィルムにおける構成材成分分析手法の検討 (マツダ) ○定井 麻子・三根生 晋・住田 弘祐
- P2050 (13:00 ~ 14:00) マトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析によるポリアミドの末端化学構造解析 (豊田中研) ○岡本 一夫・井上 雅枝
- P2051 (13:00 ~ 14:00) コレステリル4(ベンゾイルアミノ)ベンゾエート誘導体を構造要素に持つ液晶性オイルゲル化剤の結晶構造 (北海学園大工¹・九大総理工²・九大先導研³・大分大工⁴) ○久保 勘二¹・辻 和輝²・松本 泰昌³・森 章³・氏家 誠司⁴
- P2052 (13:00 ~ 14:00) イオンクロマトグラフィーを用いたイオン液体の評価 (コベルコ科研) ○天田 裕介

P2053 (13:00 ~ 14:00) アルゴン不要の液体電極プラズマを光源とし連続測定可能なポータブル元素分析装置MH-6000にて、サファイアセルを用いたシリコン測定・アルカリ性溶液測定の報告(マイクロエミッション) ○山本 保・辰巳 秀二・皆巳 純

第3日(9月11日)

P3001 (13:30 ~ 14:30) モリブデン酸添加移動相を用いる無機陰イオン分析(富山衛研¹・東海大理²・中部大応生³・金沢大環日本海域環境研究セ⁴) ○健名 智子¹・小玉 修嗣²・山本 敦³・井上 嘉則³・早川 和一⁴

P3002 (13:30 ~ 14:30) 2 μ m粒子径充填カラムを用いたHPLCからUHPLCへのメソッド移管(野村化学) ○堀切 智

P3003 (13:30 ~ 14:30) SECによる高分子化合物の分析(野村化学) ○堀切 智

P3004 (13:30 ~ 14:30) 超高速液体クロマトグラフィーによる桂枝茯苓丸エキス、桃核承気湯エキス及び麻黄湯エキス中のアミグダリン定量法の開発(クラシエ製薬漢方研) ○原井 健司・小此木 明・高橋 隆二

P3005 (13:30 ~ 14:30) プロマジンおよびクロルプロマジンに対する分子インプリントポリマーの調製と血清中のプロマジンの分析への応用(武庫川女大院薬¹・武庫川女大薬²) ○西村 奏咲¹・萩中 淳²

P3006 (13:30 ~ 14:30) コアシェルタイプのイオン交換型樹脂の開発とそれを用いた糖質の溶離挙動(第27報)(女子栄養大¹・東大生研²) ○三友 俊一¹・根岸 由紀子¹・務台 俊樹²

P3007 (13:30 ~ 14:30) Development of a liquid chromatographic ion stacking method : Its application to determination of inorganic anions in environmental water samples and purification of electrolytes (Saitama University of Science and Engineering) ○Akter Fouzia・Masami Shibukawa・Yuiko Handa・Shingo Saito

P3008 (13:30 ~ 14:30) LC/MSを用いたハロゲン酸及びハロ酢酸類の同時分析法の検討(東ソー) ○伊藤 誠治・中田 文弥

P3009 (13:30 ~ 14:30) 表面増強ラマン散乱振動分光検出器による芳香族分離スペクトル(右近工舎¹・滋賀県大工²・北陸先端科技大³・産総研⁴) ○右近 寿一郎¹・Balachandran Jayadevan²・John Cuya²・山本 裕子³・伊藤 民武⁴

P3010 (13:30 ~ 14:30) 炭素繊維を用いる2電極式電解セルの超臨界流体クロマトグラフィーへの応用(東薬大薬) ○山本法央・植木 達也・樋口 尚之・高橋 浩司・小谷 明・袴田 秀樹

P3011 (13:30 ~ 14:30) 自己制御型燃焼装置を用いた燃焼分解-イオンクロマトグラフィの検討(メトロームジャパン) ○鈴木 清一・小林 泰之

P3012 (13:30 ~ 14:30) LC-MS/MS法による胆汁酸生合成中間体の一斉分析の検討(北医療大薬) ○佐々木 隆浩・小田 佳奈・村井 毅・黒澤 隆夫

P3013 (13:30 ~ 14:30) 熱分解GC/MSを用いた硬化ゴム系接着剤の分析法の開発(鳥根県警科捜研) ○吉田 守・加藤 貴雄・長谷川 正紀・堀 睦未

P3014 (13:30 ~ 14:30) ヘッドスペースガスクロマトグラフィー質量分析計による水の定性定量分析(埼玉県警科捜研) ○大塚 和則・神津 達也

P3015 (13:30 ~ 14:30) アニオン性薬物のイオン液体抽出における溶媒効果の検討とその応用(千葉県警科捜研¹・千葉大院理²・千葉大理³) ○濱本 拓也^{1,2}・菅澤 麻衣³・勝田 正一²

P3016 (13:30 ~ 14:30) キレート配位子-陽イオン修飾ハイブリッド機能樹脂による水溶性ホウ素の捕集および脱着挙動(甲南大理工¹・早大先進理工²) ○岩月 聡史¹・古橋 玲奈¹・竹山 知志¹・平野 由希子¹・朝見 俊介¹・木村 聡志¹・茶山 健二¹・石原 浩二²

P3017 (13:30 ~ 14:30) ケナフを基体とした還元剤の開発とその応用(中部大工) ○宮内 俊幸・渡邊 亮・福王寺 琢也

P3018 (13:30 ~ 14:30) チオジグリコールアミド酸型抽出剤の網羅的抽出特性評価:ソフトドナーの影響(原子力機構¹・宮崎大工²) ○下条 晃司郎¹・藤原 伊織^{1,2}・杉田 剛¹・上田 祐生¹・岡村 浩之¹・大島 達也²・馬場 由成²・長縄 弘親¹

P3019 (13:30 ~ 14:30) 市販の食用油を溶媒として用いる金属キレートの溶媒抽出の試み(新潟大理) ○佐藤 敬一・塚田 野乃夏・菊地 優希

P3020 (13:30 ~ 14:30) 水溶性キノリト亜鉛(II)錯体を蛍光プローブとするピロリン酸イオン定量法(阪教大¹・阪技術研(森)²) ○久保埜 公二¹・堀 聡志¹・門 貴美子¹・柏木 行康²・谷 敬太¹・横井 邦彦¹

P3021 (13:30 ~ 14:30) ヒト血清アルブミンの薬物結合サイト別相互作用評価:キサントン色素誘導体のサイトI・II結合能(山口大院理工¹・山口大院創成科学²) 渡辺 浩平¹・○安達 健太²

P3022 (13:30 ~ 14:30) メチル水銀曝露量調査のための毛髪標準物質の開発(国水研¹・いであ²・Hanoi School of Public Health³・国環研⁴・東洋大⁵) ○原口 浩一¹・坂本 峰至¹・山元 恵¹・松山 明人¹・長坂 洋光²・Dang The Hung³・山川 茜⁴・佐野 友春⁴・吉永 淳⁵

P3023 (13:30 ~ 14:30) イオンおよびスラリー照射深さ方向解析による積層体外観変化要因の特定(大日本印刷) ○柴田 貴史

P3024 (13:30 ~ 14:30) 微量生体試料中シアン化物イオンの分析を可能にする前処理法の開発(千葉大院薬¹・千葉大院医²) ○望月 龍¹・東 恭平¹・安部 寛子²・岩瀬 博太郎²・戸井田 敏彦¹

P3025 (13:30 ~ 14:30) 粉じん中コバルトの分別定量のための基礎的検討(中災防労働衛生調査分析セ) ○小林 隆輔・山室 堅治・清水 英佑

P3026 (13:30 ~ 14:30) アミノ酸類の電気炉加熱分解により合成したカーボンナノドットの発光特性(東邦大理) ○森田 耕太郎・来栖 秀聖・平山 直紀

P3027 (13:30 ~ 14:30) 磁気泳動法による粒子体積磁化率測定と粒子界面分析への応用(カワノラボ) ○河野 誠・森 清香

P3028 (13:30 ~ 14:30) 金属ナノ粒子の光捕捉を利用した高感度ラマン分光(埼玉大院理工) 二又 政之・○秋葉 ナツミ・飯田 千晶

P3029 (13:30 ~ 14:30) 作業環境における芳香族アミン(6種)の安定性(安衛研) ○井上 直子

P3030 (13:30 ~ 14:30) DNPHパッシブサンプラー捕集を想定したアセトン共存下でのホルムアルデヒドの分析評価(安衛研) ○井上 直子・鷹屋 光俊

- P3031 (13:30 ~ 14:30) 作業環境測定のためのHPLC-FLによる芳香族モノアミンの選択的分析法の開発 (安衛研) ○井上 直子
- P3032 (13:30 ~ 14:30) 電子線後方散乱回折による単一ウラン微粒子の化学状態分析 (原子力機構) ○江坂 文孝・蓬田 匠・富田 涼平・宮本 ユタカ
- P3033 (13:30 ~ 14:30) GC-MS/MSによる多環芳香族炭化水素キノン類の一斉分析法の開発と大気試料への適用 (金沢大院医薬保¹・金沢大環日本海域環境研究セ²) ○鳥羽 陽¹・深川 真夢¹・唐 寧^{1,2}・早川 和一²・鈴木 亮¹
- P3034 (13:30 ~ 14:30) Simultaneous determination of polycyclic aromatic hydrocarbons and their nitro-derivatives by using two-dimensional HPLC with on-line reduction and fluorescence detection (金沢大院医薬保¹・金沢大環日本海域環境研究セ²) Yaowatat Boongla¹・唐 寧^{1,2}・早川 和一²・鈴木 亮¹・鳥羽 陽¹
- P3035 (13:30 ~ 14:30) 松葉へ直接沈着した放射性セシウムの割合と濃度減少速度 (量研機構放医研) ○田上 恵子・内田 滋夫
- P3036 (13:30 ~ 14:30) N-アセチル-β-D-グルコサミナーゼ活性値はハウユニットに代わる鶏卵の新たな鮮度指標値になりうるか? (愛知学泉大) ○小栗 重行
- P3037 (13:30 ~ 14:30) プアメラオイル中カロテノイド類のHPLC定量: 品質評価への有用性の考察 (九州保健福祉大薬¹・東京ノニ研²・長崎国際大薬³) ○和田 光弘¹・佐藤 舞¹・中村 心一¹・西垣 敏明²・中島 憲一郎³
- P3038 (13:30 ~ 14:30) 食品中の米におけるカドミウムの化学形態 (東大院農¹・放送大教養²・清泉女大³・順天堂大医⁴) 陳嘉上¹・松川 岳久⁴・篠原 厚子³・井村 祐己¹・吉村 悦郎^{1,2}・鈴木 道生¹
- P3039 (13:30 ~ 14:30) 玄米発酵食品 (FBRA) 中の植物ステロールおよびγ-オリザノールの新規LC/ESI-MS/MS定量法の開発 (東理大薬¹・コーケン²・玄米酵素³) ○堀江 裕紀子^{1,2}・山口 舞¹・高藤 季里子¹・池川 繁男³・小川 祥二郎¹・東 達也¹
- P3040 (13:30 ~ 14:30) アピオスに含まれるイソフラボン類の挙動 (新潟薬大薬¹・オフィスHALD食品機能研²) ○田辺 顕子¹・平原 卓哉¹・小西 徹也²
- P3041 (13:30 ~ 14:30) 化学兵器用剤に対する市販現場検知資機材の検知性能の比較検討9 (科警研) ○橋本 亮太・大類 保彦・近藤 友秀・長島 央行・柘 浩一郎・大塚 麻衣・岡田 侑己・山口 晃巨・大森 毅・瀬戸 康雄
- P3042 (13:30 ~ 14:30) 高親和力を保持した抗エストロジオール scFv 最少変異体調製の試み (神戸薬大) ○大山 浩之・木口 裕貴・井上 由香莉・高嶺 百合子・藤原 若菜・森田 いずみ・小林 典裕
- P3043 (13:30 ~ 14:30) オンサイト免疫測定法を目的としたモノクローナル抗ケタミン抗体の新規調製 (神戸薬大) ○森田 いずみ・神田 結・安尾 まゆみ・伊藤 綾・大山 浩之・小林 典裕
- P3044 (13:30 ~ 14:30) 顕微鏡観察及び顕微FT-IRを利用した単繊維の色調・材質別出現頻度の分析 (科警研) ○鈴木 康弘・井川 貴雄・笠松 正昭・鈴木 真一
- P3045 (13:30 ~ 14:30) HPLC蛍光分析法を用いて受動喫煙量を測定する (帝京大薬) 高橋 さやか・桐生 栄穂・太田 達宏・安田 誠・馬渡 健一・福内 友子・山岡 法子・金子 希代子・中込 和哉
- P3046 (13:30 ~ 14:30) 無蛍光性の銅 (II)-ポルフィリン誘導体との相互作用によるHSAの新規蛍光反応とその反応機構の解析 (岡山理大理) 上原 茉莉・池田 智美・猪口 雅彦・尾堂 順一
- P3047 (13:30 ~ 14:30) 金ナノ粒子の凝集制御を利用したSERS ナノビーコン (兵庫県大¹・アーカイラス²・同志社大³) ○福岡 隆夫^{1,2}・山口 明啓¹・森 康維³
- P3048 (13:30 ~ 14:30) 広帯域THz-ATR計測を用いた医薬品の結晶化モニタリング (浜松ホトニクス¹・国立医薬品食品衛生研²) ○秋山 高一郎¹・堀田 和希¹・坂本 知昭²・高橋 宏典¹・合田 幸弘²
- P3049 (13:30 ~ 14:30) HPLC-蛍光検出による毛髪中ホモシステイン関連成分の分析法の開発: 抽出法の検討 (九州保健福祉大薬¹・長崎国際大薬²) ○中村 心一¹・中島 憲一郎²・和田 光弘¹
- P3050 (13:30 ~ 14:30) キサンテン系色素とクエン酸を用いた大腸菌の光不活性化 (就実大薬¹・岡山大薬²) ○加藤 久登¹・岩崎 怜実¹・駒越 圭子²・増田 和文¹・勝 孝¹
- P3051 (13:30 ~ 14:30) 環境分析における前処理剤としての炭の基礎的検討 (神戸女学院大) ○張野 宏也・八束 絵美・末松 加奈子・藤本 愛美・土師 今日子・長塩 佳那子・片山 恵理・内藤 由弥佳
- P3052 (13:30 ~ 14:30) 蛍光X線分析を中心としたマイクロバブル油脂洗浄技術の評価 (茨城県工技セ¹・筑波大²) ○加藤 健¹・安達 卓也¹・永島 佑樹¹・小田木 美保¹・藤井 啓太²・阿部 豊²
- P3053 (13:30 ~ 14:30) UPLC-UV分析によるアミノ酸メタボロミクス (2) (福岡大薬¹・静岡県大薬²) ○富田 陵子¹・黒木 由紀¹・轟木 堅一郎²・巴山 忠¹・吉田 秀幸¹・中島 学¹・能田 均¹・山口 政俊¹・藤岡 稔大¹
- P3054 (13:30 ~ 14:30) Gelation measurement of clay suspension using DLS (HORIBA) ○Yoko Shinozaki・Keijiro Sakuramoto・Tetsuya Mori